

# OPEN CAMPUS

オープンキャンパス  
情報はコチラ



2026年 | 6月13日<sup>土</sup>・14日<sup>日</sup>  
東キャンパス 西キャンパス

| 7月25日<sup>土</sup>

| 8月22日<sup>土</sup>・23日<sup>日</sup>

| 10月3日<sup>土</sup>

| 10月31日<sup>土</sup>・11月1日<sup>日</sup> 芸大祭併催

2027年 | 2月中旬～下旬(予定) 卒業制作展併催

| 3月27日<sup>土</sup>

受験生サイトは  
コチラ



入試に関するお問い合わせ

名古屋芸術大学  
広報部 学生募集チーム

〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281  
TEL.0568-24-0318 [受付時間/9:00～17:00(土・日・祝日を除く)]  
Mail.ml-nua@nua.ac.jp

本冊子掲載の情報はすべて「予定事項」です。正式内容は本学公式Webサイトに掲載します「2027年度学生募集要項」を必ず確認のうえ出願ください。(2026年6月末に公開)  
※学生募集要項の冊子はございません。本学公式Webサイトのみの掲載となります。



名古屋芸術大学は、令和6年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、令和7年3月13日付けで「同評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。

名古屋芸術大学  
入試ガイド  
2027

# コース一覧

※のコースは2年次から選択できるコースとなります。

## [芸術学部 芸術学科]

### プロフェッショナルアーティストコース

ソリスト／作曲家／オーケストラ奏者／指導者／コレペティトゥア／室内楽奏者 など

### 声楽コース

声楽家／オペラ歌手／声楽教師／合唱指導者／音楽科教員(中学校・高等学校) など

### 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)

演奏家／伴奏者／音楽教室講師／音楽科教員(中学校・高等学校)／アレンジャー／デモンストレーター など

### 弦管打コース

ソロ演奏家／オーケストラ奏者／警察・消防・自衛隊音楽隊／アンサンブル・吹奏楽指導者／音楽科教員(中学校・高等学校) など

### ウインドアカデミーコース

音楽科教員(中学校・高等学校)／吹奏楽指導者／演奏家／音楽教室講師／警察・消防・自衛隊音楽隊／指揮者 など

### ポップス・ロック&パフォーマンスコース

ポップス・ロック・ジャズのシンガー・プレイヤー／ヴォイストレーナー／ソングライター／音楽科教員(中学校・高等学校)／作曲家／ミュージックスクール講師 など

### ダンスパフォーマンスコース

ダンサー／アクター／パフォーマー／テーマパークダンサー／タレント／振付師／ダンスインストラクター／音楽プロダクションスタッフ／ステージプランナー など

### 声優アクティングコース

声優／舞台俳優／ナレーター／司会者／CMナレーター／ラジオDJ／ミュージカル俳優／ヴォイストレーナー／ダンストレーナー など

### サウンドメディア・コンポジションコース

作曲家／編曲家／オーケストレーター／サウンドクリエイター／レコーディングエンジニア／PA・SRエンジニア／マニピュレーター／放送・MAミキサー／サウンドデザイナー／音楽科教員(中学校・高等学校) など

### ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

音響デザイナー・オペレーター／照明デザイナー・オペレーター／舞台監督(ステージデザイナー)／演出家／劇場等の企画制作担当者／音楽系企業および一般企業のイベント企画担当者 など

### 音楽ケアデザインコース

音楽療法士(常勤・フリーランス)／音楽教室講師／医療・福祉・地域の現場での音楽ケアワークショップ実践担当者／コミュニティイベントプロデューサー／特別支援学校教員 など

### 音楽総合コース

演奏家／プレイヤー／作曲編曲家／音楽科教員(中学校・高等学校)／俳優・パフォーマー／ステージスタッフ／サウンドクリエイター／PAエンジニア など

### 舞台美術コース※

舞台美術家／舞台美術制作者(舞台制作会社、興行会社、テレビ制作会社、家具・インテリア会社、実演団体、劇団) など

### 演出空間コース※

音響デザイナー／照明デザイナー(舞台制作会社、実演団体、テレビ制作会社)／音響オペレーター／照明オペレーター(舞台制作会社、劇場)／結婚式場 など

### 舞台プロデュースコース※

プロデューサー／ディレクター(劇場、劇団、テレビ局・テレビ制作会社 等)／公務員(文化芸術部局) など

音楽領域

舞台芸術領域

### 日本画コース

画家／イラストレーター／アニメーター／文化財修復技術者／伝統工芸作家／絵画教室講師／漫画家／学芸員／美術科教員(中学校・高等学校) など

### 洋画コース

アーティスト／画家／学芸員／アニメクリエイター／CGクリエイター／漫画家／絵画教室講師／美術予備校講師／美術科教員(中学校・高等学校)／工芸科教員(高等学校) など

### 現代アートコース

アーティスト／学芸員(キュレーター)／アートコーディネーター／写真家／編集者／インストーラー／グラフィックデザイナー／漫画家／アニメーター／絵本作家／美術科教員(中学校・高等学校) など

### コミュニケーションアートコース

アーティスト／デザイナー／舞台美術、ディスプレイ、立体造形制作会社／フィギュア、雑貨制作／アニメーター／イラストレーター／展覧会・イベント企画運営会社／学芸員 など

### 工芸コース

陶芸家／ガラス作家／金工作家／クラフト作家／ジュエリーデザイナー／プロダクトデザイナー(陶芸・ガラス)／教室講師／工房スタッフ／美術科教員(中学校・高等学校)／工芸科教員(高等学校) など

### 美術総合コース

アーティスト／デザイナー／学芸員(キュレーター)／美術科教員(中学校・高等学校)／工芸科教員(高等学校)／様々な分野のものづくりの現場におけるクリエイター(先端分野から伝統工芸まで) など

### ヴィジュアルデザインコース※

ディレクター／グラフィックデザイナー／Webデザイナー／プランナー／イラストレーター／プロデューサー／美術科教員(中学校・高等学校) など

### イラストレーションコース※

イラストレーター／ゲームデザイナー／アニメーター／絵本作家／漫画家／グラフィックデザイナー／キャラクターデザイナー／美術科教員(中学校・高等学校) など

### メディアコミュニケーションデザインコース※

グラフィックデザイナー／Webデザイナー／ブックデザイナー／エディトリアルデザイナー／映像ディレクター／クリエイティブディレクター／アートディレクター／アニメーター／イラストレーター／フォトグラファー／美術科教員(中学校・高等学校)／漫画家 など

### ライフスタイルデザインコース※

プランナー／プロデューサー／ディレクター／編集者／デザインリサーチャー／デザイン研究者／コミュニケーター／地方自治体職員／NPO職員／美術科教員(中学校・高等学校) など

### インダストリアル&セラミックデザインコース※

プロダクトデザイナー／インテリアデザイナー／トイデザイナー／家具デザイナー／セラミックデザイナー／商品プランナー／企画コーディネーター／美術科教員(中学校・高等学校) など

### カーデザインコース※

カーデザイナー／モーターサイクルデザイナー／モデラー／デジタルデザイナー／CMF(カラー)デザイナー／美術科教員(中学校・高等学校) など

### スペースデザインコース※

建築家／ランドスケープデザイナー／環境デザイナー／ディスプレイデザイナー／家具デザイナー／照明デザイナー／造園家／美術科教員(中学校・高等学校) など

### テキスタイルデザインコース※

テキスタイルデザイナー／CMFデザイナー／染織デザイナー／雑貨デザイナー／染織作家／着物作家／テキスタイルブランド起業 など

### 工芸コース※

陶芸家／ガラス作家／金工作家／クラフト作家／ジュエリーデザイナー／プロダクトデザイナー(陶芸・ガラス)／教室講師／工房スタッフ／美術科教員(中学校・高等学校)／工芸科教員(高等学校) など

### 先端メディア表現コース

映像ディレクター／プロダクトマネージャー／プログラマー／システムエンジニア／デザイナー／アートディレクター／イベントプランナー／アニメーション・映像作家 など

### 文芸・ライティングコース

小説家／漫画原作者／脚本家(ドラマ、アニメ、演劇)／ゲームシナリオライター／絵本作家／エッセイスト／編集者／記者／ など

### リベラルアーツコース

アートプロデューサー／アートディレクター／美術館・博物館の学芸員／芸術や文化の研究者／企業や自治体の広報・企画／テレビ番組制作者／雑誌編集者 など

美術領域

ファンデーション  
デザイン領域

芸術教育領域

## [教育学部 子ども学科]

### 学校教育系

#### 幼児教育・保育系

小学校教諭／保育士／幼稚園教諭／アート教室講師／音楽教室講師／ICT支援員／塾・予備校講師／部活動指導員／スポーツ教室インストラクター／教育系企業／児童養護施設／乳児院／障がい児施設(福祉型障がい児入所施設・児童発達支援施設など)／社会福祉施設／自治体職員(行政職など)／子ども衣料関連企業／子ども玩具関連企業／写真館／大学院進学 など

教育学部

# 入試TOPICS

## TOPIC1

### “育てる入試” 始まります。

名古屋芸術大学の最大の強みは「教育力の高さ」です。

芸術学部と教育学部それぞれの学部においての学びは正解のない問いに対し、自分なりの答えにたどり着く壮大なプロセス。スタートもゴールも学生それぞれであり、そのたどり着き方もそれぞれです。だからこそ、一人ひとりの学生に合わせて、教員が寄り添って丁寧に指導していくのが本学の教育の中心軸となっています。

その「教育力」を入試フェーズにも展開。その期間を“プレファンデーション教育”として位置づけ、「今、どれだけ弾けるか?どれだけ描けるか?」ではなく、「どれくらい一緒に成長できそうか?」そのポテンシャルを測る「育てる入試」を新しく導入します。

#### 育てる入試とは?

入学前から卒業し就職・進学するところまで一人ひとりを確実に育てる名古屋芸大メソッド



ファンデーション教育(基礎教育)とは・・・

名古屋芸大の1年次に受講する初年次教育。専門的な技能を育てていくための土台となる知識、技術を幅広く身につけることを目指し、初年次にファンデーション教育・基礎教育を行います。土台をしっかり築くからこそ、専門教育でのアウトプットのレベルが格段に上がる教育カリキュラムになっています。

### 入試はシンプルに2種類

#### 年内 総合型選抜・学校推薦型選抜

##### 「自分の個性で勝負する多様な受験生のための入試」

年内入試での入学者は全員「入学前教育(プレファンデーション)」の受講対象。



#### 年明 一般選抜

##### 「実技、学力で勝負する受験生のための入試」



### 実技未経験でもチャレンジしやすい入試

#### 総合型選抜 体験授業型入試

体験授業を通じて教員が一人ひとりを丁寧に指導し、「育てる」入試。



#### 総合型選抜 自己PR型入試(活動評価型・未来評価型)

頑張ってきたこと、頑張りたいことをアピールする、学ぶ意欲を「育てる」入試。



### 実技経験のある方がチャレンジしやすい入試

#### 総合型選抜 実技型入試・学校推薦型選抜 一般推薦入試・一般選抜 一般入試

演奏、演劇、デッサン、構想など今の実力を更に「育てる」入試。



どの入試もOPEN CAMPUSと連動。入試対策講座に参加して入試に備えよう!

#### OPEN CAMPUS 「体験授業型入試」対策講座

6/13(土) 東キャンパス ・ 14(日) 西キャンパス  
7/18(土)の体験授業内容に即した対策講座

8/22(土) ・ 23(日)  
9/12(土)の体験授業内容に即した対策講座

OPEN CAMPUS入試対策講座では、「体験授業型入試」に即した内容の授業を受講することができます。この授業を通して、各領域が大切にしている考え方や取り組み方の理解につながり、「体験授業レポート」に生かされます。

#### OPEN CAMPUS 「自己PR型入試」「実技型入試」対策講座

6/13(土) 東キャンパス ・ 14(日) 西キャンパス 7/25(土) 8/22(土) ・ 23(日) 10/3(土)

##### ●「自己PR型入試」対策講座

学部別、領域別に自己PR型入試の評価ポイントを解説します。

##### ●「実技型入試」対策講座 [7/25(土)・10/3(土)開講]

音楽領域は楽器ごとの個別レッスン(随時開催・事前予約制)、美術領域、デザイン領域はデッサン講習会やデザインの考え方講習会など、未経験者でも参加しやすい講習を開講予定。2回とも受講可能なので、リピートして参加し実力を育ててください。

TOPIC2

特待生を狙いやすい“実技入試”は全5回の受験チャンス。

- POINT 1 今まで磨いてきた「実技」で勝負したい受験生には年内3回、年明け2回、最大5回実技試験での受験チャンス！  
(総合型選抜実技型入試2回、学校推薦型選抜一般推薦入試1回、一般選抜一般入試2回)
- POINT 2 年間を通じて課題の形式は共通しているため、再チャレンジに向けた対策が立てやすい！
- POINT 3 全入試が併願可能。
- POINT 4 特待生対象となる入試。特待生Sに選ばれると、最大4年間の学費が免除。

TOPIC3

充実の特待生制度。最大4年間の学費が全額免除となる「入学特待生S」が目指せます。

	入学特待生S	入学特待生A	入学特待生B
実技試験で受験可能な入試 総合型選抜(実技型入試・プロフェッショナルアーティスト入試) 学校推薦型選抜(一般推薦入試) 一般選抜(一般入試)	●	●	●
学校推薦型選抜(一般推薦入試:基礎学力検査)			●
一般選抜(一般入試:学科試験)		●	●

**入学特待生S**

最大4年間の  
授業料、教育充実費、**全額免除**  
施設設備費を

対象者の人数 | 芸術学部/若干名  
教育学部/若干名

**入学特待生A**

入学初年次の  
授業料、教育充実費、**全額免除**  
施設設備費を

対象者の人数 | 芸術学部/8名以内  
教育学部/若干名

**入学特待生B**

入学初年次の  
授業料、教育充実費、年間**50万円に減免**  
施設設備費を

対象者の人数 | 芸術学部/16名以内  
教育学部/若干名

TOPIC4

教育学部は取得資格または大学入学共通テスト利用入試で特待生チャレンジ可能。

- 自己PR型入試(活動評価型)または科目選択型入試**  
以下の資格保有者は合格と同時に全員が特待生Sとして入学！
- 大学入学共通テスト利用型特待入試**  
大学入学共通テストの4科目合計点の得点率に応じて特待生に採択！  
**対象科目** ①国語(配点:200点) ②数学(配点:100点) ③外国語(配点:200点)  
④「地理歴史」「公民」「理科」「情報」から高得点1科目(配点:100点)  
①～④の4科目(合計:600点)の得点により特待生として入学できます。

**対象資格**

英検2級以上 | 漢検2級以上 | ITパスポート

**入学特待生S**

最大4年間の  
授業料、教育充実費、施設設備費を  
**全額免除**

対象者の人数 | 教育学部/若干名

**7割以上**  
(合計420点以上)

**入学特待生S**

最大4年間の学費  
**全額免除**

対象者の人数 | 教育学部/若干名

**6割以上**  
(合計360点以上)

**入学特待生A**

入学初年次の学費  
**全額免除**

対象者の人数 | 教育学部/若干名

**5割以上**  
(合計300点以上)

**入学特待生B**

入学初年次の学費を  
年間50万円に減免

対象者の人数 | 教育学部/若干名

TOPIC5

一般入試は前期(学科試験または実技試験)後期(実技試験)での受験

学科試験

全問解答選択式！

実技課題

全選抜で同一課題だから、受けやすい！

TOPIC6

大学入学共通テスト利用入試 3科目型検定料 3,000円

東海地区最安値！

※2026年3月現在

3科目・2科目・1科目のトリプル判定も導入

トリプル判定で合格チャンスが3倍に！

トリプル判定で出願すれば・・・  
受験した科目の中から高得点3科目を利用



以下の1～22の科目から高得点3科目にて判定

1 国語	12 物理
2 地理総合,地理探究	13 化学
3 歴史総合,日本史探究	14 生物
4 歴史総合,世界史探究	15 地学
5 地理総合/歴史総合/公共	16 英語(リーディング)
6 公共,倫理	17 英語(リスニング)
7 公共,政治・経済	18 ドイツ語
8 数学I,数学A	19 フランス語
9 数学I	20 中国語
10 数学II,数学B,数学C	21 韓国語
11 物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	22 情報I

※大学入学共通テスト利用入試(後期)は、  
国立大の可否発表を待ってからの入学手続きでOK！

検定料

トリプル判定でも  
他大学よりかなりお得！  
3,000円×3回=9,000円

- 01 コース一覧
- 03 入試TOPICS
- 07 2027年度 入試スケジュール
- 09 ポイント
- 11 出願の流れ
- 13 音楽領域
- 19 舞台芸術領域
- 20 美術領域
- 21 デザイン領域
- 23 芸術教養領域
- 24 教育学部
- 25 自己PR型入試 活動評価型ポイント
- 26 自己PR型入試 未来評価型ポイント
- 27 自己PR型入試 出願の流れ
- 29 実技型入試 ポイント
- 31 実技型入試 出願の流れ
- 33 実技型入試 実技内容
- 39 プロフェッショナルアーティスト入試 ポイント
- 40 プロフェッショナルアーティスト入試 出願の流れ
- 41 科目選択型入試 ポイント
- 42 科目選択型入試 出願の流れ
- 43 学校推薦型選抜 ポイント
- 44 学校推薦型選抜 出願の流れ
- 45 一般入試 ポイント
- 46 一般入試 出願の流れ
- 47 一般推薦入試・一般入試 実技内容
- 53 大学入学共通テスト利用入試 ポイント
- 54 大学入学共通テスト利用入試 出願の流れ
- 55 総合型選抜(特別枠)
- 57 出願・手続きの流れ
- 59 入試共通の注意事項
- 60 よくあるご質問
- 61 出願資格
- 62 出願書類
- 63 合格発表
- 64 入学手続
- 65 アドミッションポリシー等

# 2027年度入試スケジュール ○ は来学が必要な日です。

			2026年				2027年						
選抜区分	出願方法	試験区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合型選抜	1期	専願 体験授業型入試	申し込み 7/1(水)~12(日) 体験授業(1回目) 7/18(土)		エントリー 9/1(火)~6(日) 体験授業(2回目) 9/12(土) エントリー 9/15(火)~20(日)	出願許可 9/16(水)	出願 10/1(木)~10/9(金) 試験日 10/17(土) ★来学不要	合格発表 11/3(火)	入学手続 12/18(金)				
		併願 自己PR型入試(活動評価型)											
		併願 自己PR型入試(未来評価型)											
		併願 実技型入試(旧エキスパート入試)											
		併願 プロフェッショナルアーティスト入試											
学校推薦型選抜	併願	一般推薦入試						出願 11/2(月)~9(月)	合格発表 12/1(火)				
		専願 指定校推薦入試						試験日 11/14(土)	入学手続 12/18(金)				
総合型選抜	2期	併願 自己PR型入試(活動評価型)											
		併願 自己PR型入試(未来評価型)											
		併願 実技型入試(旧エキスパート入試)						出願 11/16(月)~12/7(月)	試験日 12/12(土)	合格発表 12/18(金)	入学手続 1/21(木)		
		併願 科目選択型入試											
		併願 プロフェッショナルアーティスト入試											
一般選抜	前期	併願 一般入試							出願 1/6(水)~26(火)	試験日 2/3(水)	合格発表 2/12(金)	入学手続 2/26(金)	
		併願 大学入学共通テスト利用入試							出願 1/6(水)~26(火)	合格発表 2/12(金)	入学手続 2/26(金)		
		併願 大学入学共通テスト利用型特待入試※教育学部のみ							出願 1/6(水)~26(火)	合格発表 2/12(金)		入学手続 3/24(水)	
	後期	併願 一般入試								出願 2/10(水)~23(火)	試験日 3/2(火)	合格発表 3/10(水)	入学手続 3/24(水)
		併願 大学入学共通テスト利用入試								出願 2/10(水)~23(火)	合格発表 3/10(水)	入学手続 3/24(水)	
総合型選抜(特別枠)	1期	併願 社会人&シニア入試 海外帰国生徒入試				出願 10/13(水)~22(木)		試験日 1/14(土)	合格発表 12/1(火)	入学手続 12/18(金)			
	2期	併願 外国人留学生入試 3年次編入学試験(専願)							出願 1/6(水)~14(木)	試験日 2/3(水)	合格発表 2/12(金)	入学手続 2/26(金)	

**OPEN CAMPUS**  
6/13(土)  
14(日)  
7/25(土)  
8/22(土)  
23(日)  
10/3(土)

芸大祭  
10/31(土)  
11/1(日)

卒業制作展  
2027年  
2月中旬  
?  
2月下旬  
(予定)

**POINT**

- 体験授業は7/18(土)と9/12(土)の2回の受講機会があります。
- 出願以降の流れは同じスケジュールとなります。

# 総合型選抜 体験授業型入試

今完成しているスキルではなく、これからの成長と学びへの姿勢を大切にしたプロセス重視型入試。体験授業への取り組みを通して、これから伸びていく力や学ぶ意欲を評価します。実技経験の有無は問いません。

※出願には体験授業の受講が必要です。



## 体験授業型入試とは・・・

**体験授業を通して自身を成長させる入試です。**  
体験授業では、教員の丁寧な指導やアドバイスを受けながら課題に取り組めます。体験授業後にレポートを作成し、それを元に現在の技能の完成度だけでなく、思考や試行の過程、学びへの姿勢を総合的に評価します。経験の有無に関わらず、これから伸びていく力を大切にできる入試です。

**早い時期から進路を定め、学び始めることができます。**  
本学で最も早い時期に出願が可能な入試です。早期に進路を定めることで、入学前の時間を有効に活用し、自らの関心や課題に向き合いながら準備を進める事ができます。

**オープンキャンパスと連動した継続的な学びの機会があります。**  
オープンキャンパスで受講できる入試対策講座は体験授業型入試に連動しているので、入試に向けて段階を追って取り組むことができます。体験を重ねながら、自分の関心や適性を確認し、理解を深めていくことができます。

**合格者は入学前教育(プレファンデーション)によって学びが繋がります。**  
合格後、入学手続きが完了した方は、入学前教育(プレファンデーション)を受講することができます。入学前から基礎的な学びを始めることで、大学での学修へ円滑につなげることができます。

### 選抜方法

以下により選抜を行います。  
体験授業レポート(調査書は参考資料とします。)  
※エントリーにあたり、「体験授業」の受講が必須となります。  
※体験授業の内容はP13～24を参照ください。

## 体験授業型入試の流れ



- ※1 受講が必須ではありません。
- ※2 体験授業レポートの提出が必要となります。
- ※3 出願以降、検定料が発生し専願となります。

∖ 6月と8月の2回開講 ∕  
体験授業型入試の授業内容に即した授業を体験できる  
**OPEN CAMPUS入試対策講座**

**6月13日(土)・14日(日)**

東キャンパスのみ開催 西キャンパスのみ開催

7/18(土)の体験授業の内容に即した入試対策講座

**8月22日(土)・23日(日)**

9/12(土)の体験授業の内容に即した入試対策講座

- ①～⑤までのエントリー段階では入学検定料無料。 ■出願後は専願制。
- ⑥の出願時に検定料が発生。
- 名古屋芸大の入試の中で一番早く受験できる入試。

	1回目	2回目	
受講料無料	1 体験授業受講申し込み 7/1 <sup>水</sup> ～12 <sup>日</sup> <small>6/13(土)、14(日)のオープンキャンパスで受講申し込み可能。</small>	9/1 <sup>火</sup> ～6 <sup>日</sup> <small>※8/22(土)、23(日)のオープンキャンパスで受講申し込み可能。</small>	本学公式Webサイトから「申し込み」を行ってください。 ※1回目と2回目の授業を両方受講することも可能です。それぞれ申し込みが必要です。
	2 体験授業受講日 7/18 <sup>土</sup>	9/12 <sup>土</sup>	〈集合時間・集合場所〉 受講いただく学部・領域・コースによって異なりますので、受講票に記載された集合時間や集合場所を必ずご確認ください。
検定料無料・併願可	3 エントリー期間 9/1 <sup>火</sup> ～6 <sup>日</sup>	9/15 <sup>火</sup> ～20 <sup>日</sup>	他大学、他専門学校などとの併願可能です。 本学受験生サイトから「エントリー登録」を行ってください。
	4 エントリー書類提出期日 9/7 <sup>月</sup>	9/21 <sup>月</sup>	以下エントリー書類を期日までに提出してください。書類提出は提出期日の消印有効です。 ①エントリー確認票②体験授業受講レポート
検定料必要・専願	5 出願可否通知 9/16 <sup>水</sup>	9/30 <sup>水</sup>	1回目は、9月16日(水)、2回目は9月30日(水)に出願可否を発表します。 許可者には本人宛に出願許可書を送付します。出願許可された方は、出願をすることができます。
	6 出願期間 10/1 <sup>木</sup> ～9 <sup>金</sup>		本学受験生サイトから出願登録をしてください。 ※出願時に検定料(15,000円)がかかります。※出願後は専願となり、出願登録後の辞退はできません。
検定料必要・専願	7 出願書類提出期日 10/10 <sup>土</sup>		以下出願書類を期日までに提出してください。書類提出は提出期日の消印有効です。 書類をもって選考となります。来学も不要です。 ①出願確認票②出願許可書③調査書
	8 合格発表 11/3 <sup>火</sup>		合格者に合格通知と入学手続き書類を送付します。
検定料必要・専願	9 入学手続き 12/18 <sup>金</sup>		期日までに入学手続きを完了ください。
	10 入学前教育(プレファンデーション)		入学前教育(プレファンデーション)が受講できます。 学部・領域ごとに課題が異なります。入学手続き書類にて案内を送付します。

音楽領域

①声楽コース	
<p><b>7/18</b> 世界に1つの「楽器」を最大限に響かせる、呼吸と発声の基礎トレーニング</p> <p>声楽を学ぶ上で最も大切なことは、自分自身の身体を1つの「楽器」として整えることから始まります。この授業では、プロも実践する呼吸法や共鳴の基礎をじっくりと体験しましょう。一人ひとりの個性を引き出すアドバイスを通じて、自分の声豊かに変化していくプロセスを体感してください。声楽の経験がなくても、歌うことが好きな方なら大歓迎です。ここから、あなただけの唯一無二の響きを一緒に磨いていきましょう。</p>	<p><b>9/12</b> 「歌」に心を吹き込もう！自分らしい表現を見つける体験レッスン</p> <p>「どうすればもっと魅力的に歌えるかな?」という疑問を、楽しさに変えるひと時です。歌詞の言葉を大切に響かせるコツや、表情豊かな歌い方を分かりやすくアドバイスします。本格的に習ったことがなくても大丈夫。あなたが選んだ一曲を通して、自分でも気づかなかった「新しい声の魅力」を一緒に見つけましょう。音楽で自分を表現する喜びを、ぜひこの機会に体感してください。</p>
<p>・筆記用具 ・飲み物 ・歌いたい曲の楽譜(本人用・伴奏用の計2部)</p>	<p>・筆記用具 ・飲み物 ・歌いたい曲の楽譜(本人用・伴奏用の計2部)</p>
<p>動きやすい服装</p>	<p>動きやすい服装</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)取り組み姿勢と熱意:アドバイスを真摯に受け止め、前向きに挑戦しようとする姿勢。 (2)変化と適応力:授業内での対話や指導を通じて、自分の課題に気づき改善しようとするプロセス。 (3)探究心と意欲:声楽という芸術を学びたいという意志や積極性と、他者と協調しようとするコミュニケーション能力。</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)取り組み姿勢と熱意:アドバイスを真摯に受け止め、前向きに挑戦しようとする姿勢。 (2)変化と適応力:授業内での対話や指導を通じて、自分の課題に気づき改善しようとするプロセス。 (3)探究心と意欲:声楽という芸術を学びたいという意志や積極性と、他者と協調しようとするコミュニケーション能力。</p>

③鍵盤楽器(電子オルガン)コース	
<p><b>7/18</b> 電子オルガンの基礎的な奏法を体験する</p> <p>個別レッスン方式で、電子オルガンの基礎的な鍵盤奏法を体験する授業です。ELS-02C、ELS-03XRのいずれかの機種を使用し、任意の楽曲を演奏してください。メロディやリズムを確認しながら(インシヤルタッチやアフタータッチなど)適した鍵盤奏法と一緒に考えましょう。電子オルガンの経験が浅い方でも安心して参加することのできる授業です。</p>	<p><b>9/12</b> 電子オルガンの表現力を追求する</p> <p>個別レッスン方式で、電子オルガンの音(レジストレーション)の可能性に触れ、表現力のある演奏を目指す授業です。ELS-02C、ELS-03XRのいずれかの機種を使用し、任意の楽曲を演奏してください。自分の指や身体の特徴を知り、音の調節をしながら表現力のある演奏に仕上げていきましょう。電子オルガンの経験が浅い方でも安心して参加することのできる授業です。</p>
<p>筆記用具・USBメモリ・楽譜(自分用)・楽譜コピー(教員用)</p>	<p>筆記用具・USBメモリ・楽譜(自分用)・楽譜コピー(教員用)</p>
<p>演奏しやすい服装</p>	<p>演奏しやすい服装</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)授業を受ける姿勢 (2)音楽表現への興味 (3)コミュニケーション力 (4)指導内容の理解力</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)授業を受ける姿勢 (2)音楽表現への興味 (3)コミュニケーション力 (4)指導内容の理解力</p>

②鍵盤楽器(ピアノ)コース	
<p><b>7/18</b> ピアノ表現の基礎を体験する</p> <p>個別レッスン形式で、正しい姿勢やタッチ、音の出し方などピアノ演奏の基礎を体験します。受験生が選択した楽曲を用い、レッスンを通じて演奏の変化を実感できる内容です。あわせて簡単な初見演奏にも取り組みます。ピアノ経験が浅い方でも安心して参加でき、音楽を学ぶ楽しさと自身の可能性を感じられる授業です。</p>	<p><b>9/12</b> 音楽表現を深めるピアノ実践</p> <p>受験生が選択した楽曲を用い、表現の工夫や音色の違いを体験する授業です。あわせて簡単な初見演奏にも取り組みます。大学での専門的な学びの一端を体験しながら、音楽的コミュニケーションの大切さを実感できます。ピアノ経験が浅い方でも安心して参加でき、一人ひとりの今後の可能性を引き出します。</p>
<p>・筆記用具 ・楽譜</p>	<p>・筆記用具 ・楽譜</p>
<p>自由(演奏しやすい服装、少しフォーマルなものが望ましい)</p>	<p>自由(演奏しやすい服装、少しフォーマルなものが望ましい)</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)課題への取り組み姿勢 (2)指導内容の理解力 (3)音楽表現への興味関心 (4)改善しようとする姿勢 (5)コミュニケーション力</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)課題への取り組み姿勢 (2)指導内容の理解力 (3)音楽表現への興味関心 (4)改善しようとする姿勢 (5)コミュニケーション力</p>

④弦管打コース	
<p><b>7/18</b> プロの指導による実技体験レッスン</p> <p>実際に大学の授業と同様の実技レッスン(45分)を体験してもらう。その時担当した教員に、今回レッスンを受けた楽曲に対し、様々な観点から細かくアドバイスをしてもらう。その後その楽曲を実際に演奏披露してもらい、どのように変化したかを評価してもらう。</p>	<p><b>9/12</b> プロの指導による実技体験レッスン</p> <p>実際に大学の授業と同様の実技レッスン(45分)を体験してもらう。その時担当した教員に、今回レッスンを受けた楽曲に対し、様々な観点から細かくアドバイスをしてもらう。その後その楽曲を実際に演奏披露してもらい、どのように変化したかを評価してもらう。</p>
<p>・専攻楽器 (大型楽器は大学で貸し出し可。但しマウスピースやリードは持参の事) ・実際演奏する譜面 ・筆記用具</p>	<p>・専攻楽器 (大型楽器は大学で貸し出し可。但しマウスピースやリードは持参の事) ・実際演奏する譜面 ・筆記用具</p>
<p>普段着でも可</p>	<p>普段着でも可</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)楽曲の上達度 (2)楽器演奏の技術 (3)適応力 (4)理解力</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)楽曲の上達度 (2)楽器演奏の技術 (3)適応力 (4)理解力</p>

## 音楽領域

⑤ウインドアカデミーコース	
<p><b>7/18 管楽器リペア体験</b></p> <p>ウインドアカデミーコースの授業で行われている管楽器リペアを体験。空間認知の問題を解いたり、簡単な楽器の組み立てを行う。</p>	<p><b>9/12 管楽器リペア体験</b></p> <p>ウインドアカデミーコースの授業で行われている管楽器リペアを体験。空間認知の問題を解いたり、簡単な楽器の組み立てを行う。</p>
<p>筆記用具</p>	<p>筆記用具</p>
<p>普段着でも可</p>	<p>普段着でも可</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)授業を受ける姿勢                      意欲的に取り組み、教員とのコミュニケーションをとることができているか。                      (2)発想力                      柔軟な発想で物事が理解できているか。                      (3)理解力                      課題内容を理解した上で、作業が指示通りできているか。</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)授業を受ける姿勢                      意欲的に取り組み、教員とのコミュニケーションをとることができているか。                      (2)発想力                      柔軟な発想で物事が理解できているか。                      (3)理解力                      課題内容を理解した上で、作業が指示通りできているか。</p>

⑦ダンスパフォーマンスコース	
<p><b>7/18 ダンスパフォーマンス体験レッスン</b></p> <p>ダンス実技の授業の体験レッスン。(50分間) ウォーミングアップとしてストレッチやアイソレーション等を行った後、講師の動きを真似しながら、短い振付を覚えて音楽に合わせて踊る。身体を使って音楽や感情を表現することを体験する。</p>	<p><b>9/12 ダンスパフォーマンス体験レッスン</b></p> <p>ダンス実技の授業の体験レッスン。(50分間) ウォーミングアップとしてストレッチやアイソレーション等を行った後、講師の動きを真似しながら、短い振付を覚えて音楽に合わせて踊る。身体を使って音楽や感情を表現することを体験する。</p>
<p>・ダンスシューズまたは室内用シューズ                      ・水分補給のための飲み物</p>	<p>・ダンスシューズまたは室内用シューズ                      ・水分補給のための飲み物</p>
<p>動きやすい服装(パンツスタイル)</p>	<p>動きやすい服装(パンツスタイル)</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)授業に取り組む姿勢、意欲                      (2)表現力                      (3)ダンスの基礎力</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)授業に取り組む姿勢、意欲                      (2)表現力                      (3)ダンスの基礎力</p>

⑥ポップスロック&パフォーマンスコース	
<p><b>7/18 好きなジャンル、得意な楽曲での完成度を高める体験授業</b></p> <p>ヴォーカル、ギター、ベース、ピアノ、ドラム、パーカッション、サクソ、トランペット等それぞれの楽器のマイナス1音源により、発表。                      (1)ヴォーカル                      音程、リズム、ボイストレーニング、歌心等のチェック・レッスン                      (2)ギター、ピアノ                      ソロパートのチェック・レッスン                      (3)ベース、ドラム、パーカッション                      テンポリズム、グループ等のチェック・レッスン                      (4)サクソ、トランペット等                      リフ、セクション、アドリブ等のチェック・レッスン</p>	<p><b>9/12 好きなジャンル、得意な楽曲での完成度を高める体験授業</b></p> <p>ヴォーカル、ギター、ベース、ピアノ、ドラム、パーカッション、サクソ、トランペット等それぞれの楽器のマイナス1音源により、発表。                      (1)ヴォーカル                      音程、リズム、ボイストレーニング、歌心等のチェック・レッスン                      (2)ギター、ピアノ                      ソロパートのチェック・レッスン                      (3)ベース、ドラム、パーカッション                      テンポリズム、グループ等のチェック・レッスン                      (4)サクソ、トランペット等                      リフ、セクション、アドリブ等のチェック・レッスン</p>
<p>・筆記用具                      ・それぞれの楽器                      ・マイナス1音源(スマートフォン、CD)</p>	<p>・筆記用具                      ・それぞれの楽器                      ・マイナス1音源(スマートフォン、CD)</p>
<p>自由</p>	<p>自由</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)曲の理解度                      (2)最初の発表後、それぞれの楽器の習得や上達                      (3)自己の考えやプレゼン、パフォーマンス能力                      (4)アドリブの考え方、音楽理論                      (5)演奏を楽しんでいるか</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)曲の理解度                      (2)最初の発表後、それぞれの楽器の習得や上達                      (3)自己の考えやプレゼン、パフォーマンス能力                      (4)アドリブの考え方、音楽理論                      (5)演奏を楽しんでいるか</p>

⑧声優アクティングコース	
<p><b>7/18 夢に向かって自分を磨く体験授業</b></p> <p>声優になるために、まず初めに獲得しなければならない力は演技の基礎能力です。具体的には、話す力、見る力、聞く力、感じる力、あらゆる出来事に対応する力。そしてコミュニケーション力。これらの能力を高めるための基礎訓練を体験(90分)してもらいます。</p>	<p><b>9/12 夢に向かって自分を磨く体験授業</b></p> <p>声優になるために、まず初めに獲得しなければならない力は演技の基礎能力です。具体的には、話す力、見る力、聞く力、感じる力、あらゆる出来事に対応する力。そしてコミュニケーション力。これらの能力を高めるための基礎訓練を体験(90分)してもらいます。</p>
<p>筆記用具</p>	<p>筆記用具</p>
<p>動きやすい服装</p>	<p>動きやすい服装</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)理解力                      (2)探究力                      (3)コミュニケーション力                      (4)集中力                      (5)対応力</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。                      (1)理解力                      (2)探究力                      (3)コミュニケーション力                      (4)集中力                      (5)対応力</p>

## 音楽領域

⑨ サウンドメディア・コンポジションコース	
<p><b>7/18 作曲ならびに録音の体験授業</b></p> <p>作曲ならびに録音の体験授業を実施します。作曲の体験授業では、パソコン(Mac)を使用して簡単な音楽制作を行います。録音の体験授業では、録音方法の事例とレコーディングスタジオの機能を学びます。実際にパーカッションやクラブなどを録音し、録音とミックスがどのように行われているかを体験します。</p>	<p><b>9/12 作曲ならびに録音の体験授業</b></p> <p>作曲ならびに録音の体験授業を実施します。作曲の体験授業では、パソコン(Mac)を使用して簡単な音楽制作を行います。録音の体験授業では、録音方法の事例とレコーディングスタジオの機能を学びます。実際にパーカッションやクラブなどを録音し、録音とミックスがどのように行われているかを体験します。</p>
<p>授業内容</p>	<p>授業内容</p>
<p>持ち物</p> <p>筆記用具</p>	<p>持ち物</p> <p>筆記用具</p>
<p>服装</p> <p>自由</p>	<p>服装</p> <p>自由</p>
<p>評価ポイント</p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。            (1)学びへの関心・意欲            体験授業の内容を踏まえ、自身の考えを表現する姿勢が見られるか。            新しい視点を取り入れようとする意欲があるか。            (2)自分の作品を客観的に振り返る力            自分が制作した音源を振り返り、それを言葉で説明しようとしているか。            (3)考えを整理する力            音楽とテクノロジーの関係について、自分なりの視点で整理し的確に伝えようとしているか</p>	<p>評価ポイント</p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。            (1)学びへの関心・意欲            体験授業の内容を踏まえ、自身の考えを表現する姿勢が見られるか。            新しい視点を取り入れようとする意欲があるか。            (2)自分の作品を客観的に振り返る力            自分が制作した音源を振り返り、それを言葉で説明しようとしているか。            (3)考えを整理する力            音楽とテクノロジーの関係について、自分なりの視点で整理し的確に伝えようとしているか</p>

⑩ ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	
<p><b>7/18 『自分』ではなく『観客』のために。プロの扉を叩く体験授業</b></p> <p>コンサート、演劇、ミュージカル、オペラ……。多くの人々を魅了するエンターテインメントの舞台裏では、スタッフが幅広い専門知識を駆使して活躍しています。最高のステージを作るのは、あなた自身の「技術」と「視点」です。コンサートやミュージカルなど、あらゆるエンタメ業界で求められるのは、ジャンルを横断したマルチな知識。今回の体験授業では、音響と照明の基礎に挑戦していただきます。独りよがりの表現に留まらず、「どうすれば観客に最高のパフォーマンスを届けられるか?」というプロの思考で、理想の音と光の演出を形にしてみましょう。</p>	<p><b>9/12 『自分』ではなく『観客』のために。プロの扉を叩く体験授業</b></p> <p>コンサート、演劇、ミュージカル、オペラ……。多くの人々を魅了するエンターテインメントの舞台裏では、スタッフが幅広い専門知識を駆使して活躍しています。最高のステージを作るのは、あなた自身の「技術」と「視点」です。コンサートやミュージカルなど、あらゆるエンタメ業界で求められるのは、ジャンルを横断したマルチな知識。今回の体験授業では、音響と照明の基礎に挑戦していただきます。独りよがりの表現に留まらず、「どうすれば観客に最高のパフォーマンスを届けられるか?」というプロの思考で、理想の音と光の演出を形にしてみましょう。</p>
<p>授業内容</p>	<p>授業内容</p>
<p>持ち物</p> <p>筆記用具</p>	<p>持ち物</p> <p>筆記用具</p>
<p>服装</p> <p>動きやすい服装(スカートなど機材に引っかかるような服装はNG)</p>	<p>服装</p> <p>動きやすい服装(スカートなど機材に引っかかるような服装はNG)</p>
<p>評価ポイント</p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。  <b>【理解度と探究心(インプット&amp;フィードバック)】</b>            単に言われた通りにするだけでなく、技術の「なぜ」を吸収しようとする姿勢。            ・解説した機材の構造や操作手順を正しく理解し、実践できているか。            ・不明点をそのままにせず、解決のために自ら質問や確認を行っているか。            ・アドバイスを柔軟に取り入れ、次の操作に反映させているか。  <b>【協調性とコミュニケーション(チームワーク)】</b>            舞台制作はチームプレイです。周囲との連携が取れるか。            ・他の参加者と機材を譲り合ったり、声を掛け合ったりして円滑に作業を進めているか。            ・教員やスタッフの指示に対して、ハッキリとした返事やリアクションができていないか。            ・共同作業において、自分の役割だけでなく周囲の状況を把握しようとしているか。  <b>【集中力と瞬発力(テクニカル・実行力)】</b>            本番の「一発勝負」に対応できる集中力と、リズム感。            ・課題楽曲の構成(イントロ、サビなど)を把握し、変化のタイミングに集中できているか。            ・指定された「きっかけ(キュー)」に対して、遅延や迷いなく正確にフェーダーやスイッチを操作できているか。            ・ミスがあった際もパニックにならず、即座に次の動作へ切り替えられているか。</p>	<p>評価ポイント</p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。  <b>【理解度と探究心(インプット&amp;フィードバック)】</b>            単に言われた通りにするだけでなく、技術の「なぜ」を吸収しようとする姿勢。            ・解説した機材の構造や操作手順を正しく理解し、実践できているか。            ・不明点をそのままにせず、解決のために自ら質問や確認を行っているか。            ・アドバイスを柔軟に取り入れ、次の操作に反映させているか。  <b>【協調性とコミュニケーション(チームワーク)】</b>            舞台制作はチームプレイです。周囲との連携が取れるか。            ・他の参加者と機材を譲り合ったり、声を掛け合ったりして円滑に作業を進めているか。            ・教員やスタッフの指示に対して、ハッキリとした返事やリアクションができていないか。            ・共同作業において、自分の役割だけでなく周囲の状況を把握しようとしているか。  <b>【集中力と瞬発力(テクニカル・実行力)】</b>            本番の「一発勝負」に対応できる集中力と、リズム感。            ・課題楽曲の構成(イントロ、サビなど)を把握し、変化のタイミングに集中できているか。            ・指定された「きっかけ(キュー)」に対して、遅延や迷いなく正確にフェーダーやスイッチを操作できているか。            ・ミスがあった際もパニックにならず、即座に次の動作へ切り替えられているか。</p>

⑪ 音楽ケアデザインコース	
<p><b>7/18 好きな音楽の心理的効果を考え、ミニプレゼンを行う。</b></p> <p>音楽が人の心や気分にとどのような影響を与えるのかについて、まずミニ講座を通して学びます。そのうえで、自分の好きな音楽を題材に、なぜその音楽が好きなのか、聴くとどのような気持ちになるのかなどを考え、音楽の心理的効果について整理します。最後に、その内容をもとにミニプレゼンテーションを行い、自分の考えを相手にわかりやすく伝える体験をします。</p>	<p><b>9/12 音楽療法について知り、簡単なプログラムを立案・実施する。</b></p> <p>音楽療法とはどのような支援なのかについて、まずミニ講座を通して基本的な考え方や実践の例を学びます。そのうえで、音楽が人の心や行動にどのように働きかけるのかを考えながら、簡単な音楽療法プログラムを立案します。最後に、考えたプログラムをもとに模擬セッションを行い、音楽を用いた支援の可能性や人との関わりについて体験的に理解を深めます。</p>
<p>授業内容</p>	<p>授業内容</p>
<p>持ち物</p> <p>・筆記用具 ・ノート</p>	<p>持ち物</p> <p>・筆記用具 ・ノート</p>
<p>服装</p> <p>特に指定なし</p>	<p>服装</p> <p>動きやすい服装</p>
<p>評価ポイント</p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。            (1)学びへの関心・意欲            ミニ講座の内容を踏まえ、自分なりに考えようとする姿勢が見られるか。            新しい視点を取り入れようとする意欲があるか。            (2)自分の経験を振り返る力            好きな音楽を手がかりに、自分の気持ちや体験を振り返り、言葉で説明しようとしているか。            (3)考えを整理する力            音楽と気持ちの関係について、自分なりの視点で整理し、筋道立てて伝えようとしているか。</p>	<p>評価ポイント</p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。            (1)学びへの関心・理解            ミニ講座の内容を踏まえ、音楽療法の考え方を理解しようとする姿勢が見られるか。            新しい視点を受け取り、自分なりに考えようとしているか。            (2)発想・考える力            音楽が人にどのように働きかけるのかを考えながら、目的や活動内容を意識してプログラムを構想しようとしているか。            (3)協働・実践への姿勢            模擬セッションの中で、周囲と関わりながら活動に取り組み、音楽を通して人と関わろうとする姿勢が見られるか。</p>

## ⑫ 音楽総合コース

①～⑪までのいずれか1つのコースの体験授業を選択できます。

## 舞台芸術領域

全コース	
<p><b>7/18 一人芝居から舞台プランをつくろう!</b></p> <p>上演される一人芝居を鑑賞し、台本を読み解きながら、作品が伝えたいテーマやメッセージについて考えます。そのうえで、どのような観客に届けたい作品なのかを想像し、舞台美術・音響・照明のプランをグループで考えます。劇場空間や舞台備品を使いながらシーンごとの表現を工夫し、最後は全体で共有・調整して一つの舞台作品として発表します。舞台芸術ができるまでを体験するワークショップです。</p>	<p><b>9/12 モノ・身体・空間で舞台をつくろう!</b></p> <p>舞台芸術作品をつくるうえで大切な「モノ・身体・空間」を意識する身体表現ワークショップを体験します。その後、台本を読み、作品の構成や演出プランをグループで考えます。幾何学的なオブジェを組み合わせて変化する舞台空間をつくり、シーンに合わせた動きや身体表現を工夫しながら物語を立ち上げます。音楽や効果音についても話し合い、最後に一つの作品として発表します。</p>
<p>・筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど) ・メモ用ノート</p>	<p>・筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど) ・メモ用ノート</p>
<p>汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(サンダル、ヒール不可)、スカート不可、髪の毛が長い人は束ねる。</p>	<p>汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(サンダル、ヒール不可)、スカート不可、髪の毛が長い人は束ねる。</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)チャレンジする姿勢 作品や台本を読み取り、自分なりの考えを持つことにチャレンジできるか。 (2)発想の柔軟性 レクチャーや対話を生かしながら、プランを柔軟に考えられるか。 (3)理解力 舞台美術・音響・照明の役割を理解し、表現に活かそうとできるか。 (4)コミュニケーション力 グループワークを通して、自分の考えを伝え、他者と協働できるか。 (5)集中力 作品づくりに主体的に取り組み、最後まで集中して参加できるか。</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)チャレンジする姿勢 作品や台本を読み取り、自分なりの考えを持つことにチャレンジできるか。 (2)発想の柔軟性 レクチャーや対話を生かしながら、プランを柔軟に考えられるか。 (3)理解力 舞台美術・音響・照明の役割を理解し、表現に活かそうとできるか。 (4)コミュニケーション力 グループワークを通して、自分の考えを伝え、他者と協働できるか。 (5)集中力 作品づくりに主体的に取り組み、最後まで集中して参加できるか。</p>

## 美術領域 平面課題または立体課題のいずれかを選択してください。

全コース(平面課題)	
<p><b>7/18 鉛筆で描く1</b></p> <p>提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは平面課題「自分の手を描く」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。</p>	<p><b>9/12 鉛筆で描く2</b></p> <p>提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは平面課題「自分の顔を描く」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。</p>
<p>・画用紙 ・鉛筆 ・練り消しゴム</p>	<p>・画用紙 ・鉛筆 ・練り消しゴム</p>
<p>よごれても良い服装で受講してください。</p>	<p>よごれても良い服装で受講してください。</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力=テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ち=制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力=テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ち=制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。</p>

## 全コース(立体課題)

<p><b>7/18 粘土でつくる1</b></p> <p>提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは立体課題「自分の手をつくる」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。</p>	<p><b>9/12 粘土でつくる2</b></p> <p>提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは立体課題「自分の顔をつくる」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。</p>
<p>・粘土 ・制作用具</p>	<p>・粘土 ・制作用具</p>
<p>よごれても良い服装で受講してください。</p>	<p>よごれても良い服装で受講してください。</p>
<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力=テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ち=制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。</p>	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力=テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ち=制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。</p>

## デザイン領域

ファンデーション	
授業内容	<p><b>7/18 デザインワークショップ 考え方編</b></p> <p>デザインプロセスにおける考え方や発想の仕方を学ぶ授業です。デザイン領域1年次に取り組むファンデーション課題を視野に入れ、テーマに沿った講義とワークを通して理解を深め、考えた内容を作品としてまとめる制作を行います。</p>
持ち物	筆記用具
服装	汚れてもよい作業しやすい服装
評価ポイント	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <p>(1)取り組む姿勢 課題やワークに対して、意欲をもって主体的に取り組もうとする姿勢。</p> <p>(2)理解と発想の広がり 講義や課題の内容を理解しながら、自分なりの考えや発想を広げてゆく力。</p> <p>(3)考えを深めようとする姿勢 出てきたアイデアについて理由を考えたり試したりしながら、考えを深めようとしている工夫。</p>
授業内容	<p><b>9/12 デザインワークショップ 表現編</b></p> <p>デザインにおいてアイデアを伝えるために必要な表現方法や基礎的な技術を学ぶ授業です。デザイン領域1年次に取り組むファンデーション課題を視野に入れ、テーマに沿った講義とワークを通して理解を深め、考えた内容を表現としてまとめる活動を行います。</p>
持ち物	筆記用具
服装	汚れてもよい作業しやすい服装
評価ポイント	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <p>(1)取り組む姿勢 課題や制作に対して、意欲をもって主体的に取り組もうとする姿勢。</p> <p>(2)表現の工夫 自分の考えやアイデアを、形や方法に表そうとする工夫。</p> <p>(3)伝えようとする意識 制作した内容を見直ししながら、相手に伝わる形にしようとする意識。</p>

文芸・ライティングコース	
授業内容	<p><b>7/18 文芸作品のリライト、その組み立ての分析</b></p> <p>広く読まれている文芸作品を題材に、他の文体で書き直す実験を行います。この授業では「文体」について学びながら書き方の特徴を捉えます。あわせて、文芸作品がどのように構成されているかを考え、自身の発見を発表し、意見交換を行います。</p>
持ち物	筆記用具
服装	特に指定なし
評価ポイント	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <p>(1)課題への向き合い方 文章を書くことに対して、粘り強く取り組もうとする姿勢。</p> <p>(2)発想と構成の工夫 文体の違いを意識しながら、自分なりの工夫をもって文章を組み立てる力。</p> <p>(3)作品と意見交換への発見 リライトの取り組みと、他の受講者との意見交換をとおして発見したことを書いているか。</p>
授業内容	<p><b>9/12 エッセイのタイトルを検討する</b></p> <p>エッセイを読み、その内容がタイトルによってどのように受け取られるかを考える授業です。文章を読んだ後、複数のタイトル案を作成し、カードを用いて入れ替えながら比較・検討を行います。最後に、それぞれの考えを発表し、意見交換を行います。</p>
持ち物	筆記用具
服装	特に指定なし
評価ポイント	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <p>(1)読み取る姿勢 文章の内容や意図を丁寧に読み取り、自分なりに考えようとする姿勢。</p> <p>(2)発想の柔軟さ 文章の内容に対して、さまざまな視点からタイトルを考えようとする思考の柔軟さ。</p> <p>(3)意見を伝える工夫 自分の考えを言葉にして発表し、他者と共有しようとするための工夫。</p>

先端メディア表現コース	
授業内容	<p><b>7/18 映像コンテンツ制作のプロセスを体験しよう</b></p> <p>グループワークを通して、テーマに沿った映像コンテンツの企画を行います。はじめに大学内の観察を行い、テーマに基づいてアイデアを出し合います。次に企画書と絵コンテを制作し、撮影対象や撮影場所を決定します。その後、iPadを用いて写真撮影を行い、写真コンテを作成します。最後に、制作した内容についてプレゼンテーションを行います。</p>
持ち物	筆記用具
服装	作業しやすい服装、動きやすい靴
評価ポイント	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <p>(1)協働する姿勢 グループでの活動の中で、周囲と関わりながら積極的に参加しようとする姿勢。</p> <p>(2)アイデアの展開 観察や話し合いを通して、テーマに沿ったアイデアを広げようとする展開力。</p> <p>(3)構成と伝え方の工夫 企画や写真コンテを通して、考えた内容を分かりやすく整理しようとする工夫。</p>
授業内容	<p><b>9/12 デジタルファブリケーションを活用した企画と設計</b></p> <p>グループワークを通して、身近な問題の発見とその解決に向けた企画立案を行います。日常生活で感じている不便さや課題を持ち寄り、グループ内で共有・整理します。その中からテーマを選定し、原因や背景を分析した上で、デジタルファブリケーション工場の機材を活用した解決案を構想します。最後に、設計図や図解を用いて内容を具体的に示します。</p>
持ち物	筆記用具
服装	作業しやすい服装、動きやすい靴
評価ポイント	<p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <p>(1)課題への気づき 身近な生活の中から問題や不便さに気づき、それについて考えようとする姿勢。</p> <p>(2)考えを組み立てる力 原因や背景を整理しながら、解決に向けたアイデアを組み立てようとする思考力。</p> <p>(3)具体化への工夫 図や設計を通して、考えた内容を具体的な形として示そうとする工夫。</p>

## 芸術教養領域

リベラルアーツコース	
<p><b>7/18 「編集」で新しい価値を生み出す 多様なピースから「新しい関係性」をつくる</b></p> <p>この体験授業では、バラバラなモノやコトをつなぎ合わせて新たな価値をつくり出す「編集」を体験します。アートやデザイン、映画、音楽、マンガなど、多様なジャンル・時代から集まった「ピース」を、自身の視点で自由に組み合わせ、「新しい関係性」を形にします。モノやコトの背景を調べたり、想像を膨らませたりしながら、バラバラな要素を「ひとつのまとまり」に編み直す。今までにないつながりを創造する、芸術教養領域の学びを体験してください。</p>	<p><b>9/12 「編集」で新しい価値を生み出す 多様なピースから「新しい関係性」をつくる</b></p> <p>この体験授業では、バラバラなモノやコトをつなぎ合わせて新たな価値をつくり出す「編集」を体験します。アートやデザイン、映画、音楽、マンガなど、多様なジャンル・時代から集まった「ピース」を、自身の視点で自由に組み合わせ、「新しい関係性」を形にします。モノやコトの背景を調べたり、想像を膨らませたりしながら、バラバラな要素を「ひとつのまとまり」に編み直す。今までにないつながりを創造する、芸術教養領域の学びを体験してください。</p>
<p><b>持ち物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具 (HB程度の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、ボールペン)</li> <li>・自身の興味関心、視点を表すようなピース(身の回りの小物など) ※何点でも可 ※大学側でもさまざまなピースを用意します。 なお、7/18と9/12で用意するピースは異なります。</li> </ul>	<p><b>持ち物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具 (HB程度の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、ボールペン)</li> <li>・自身の興味関心、視点を表すようなピース(身の回りの小物など) ※何点でも可 ※大学側でもさまざまなピースを用意します。 なお、7/18と9/12で用意するピースは異なります。</li> </ul>
<p><b>服装</b></p> <p>作業およびプレゼンテーションに適した動きやすい服装。 (制服・私服は問いませんが、過度に華美なものや作業を妨げるものは避けてください)</p>	<p><b>服装</b></p> <p>作業およびプレゼンテーションに適した動きやすい服装。 (制服・私服は問いませんが、過度に華美なものや作業を妨げるものは避けてください)</p>
<p><b>評価ポイント</b></p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、多角的な視点から「編集」の役割を捉えようとしているか。</li> <li>(2)意欲・実行 自身の興味関心(アート・音楽・サブカル等)を起点に、他のピースとの接点を探求しているか。</li> <li>(3)思考・判断 リサーチで得た客観的な事実と、自身の主観的な発見を統合し、新しい意味を見出そうとしているか。</li> <li>(4)技能・表現 ピースの組み合わせや構成を工夫し、独自の視点を視覚的・言語的に表現しようとしているか。</li> <li>(5)コミュニケーション 自身の考えた「つながり」を他者に伝えるとともに、異なる解釈を柔軟に受け入れようとしているか。</li> </ol>	<p><b>評価ポイント</b></p> <p>下記の内容を体験授業レポートにて評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、多角的な視点から「編集」の役割を捉えようとしているか。</li> <li>(2)意欲・実行 自身の興味関心(アート・音楽・サブカル等)を起点に、他のピースとの接点を探求しているか。</li> <li>(3)思考・判断 リサーチで得た客観的な事実と、自身の主観的な発見を統合し、新しい意味を見出そうとしているか。</li> <li>(4)技能・表現 ピースの組み合わせや構成を工夫し、独自の視点を視覚的・言語的に表現しようとしているか。</li> <li>(5)コミュニケーション 自身の考えた「つながり」を他者に伝えるとともに、異なる解釈を柔軟に受け入れようとしているか。</li> </ol>

## 教育学部 ①か②いずれか1つを選択できます。

体験授業①	
<p><b>7/18 詩をモチーフにしたコラージュ作品を 共同制作しよう!</b></p> <p>テーマに沿ってグループで共同制作を行い、成果発表を実施する。</p> <p>配付された詩を読み解き、その世界をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作をします。最後に、グループごとに成果を発表しあうことで、詩の世界の解釈や制作した作品の工夫や良さ等について共有します。授業の際、模造紙、カラーペン、色鉛筆、のり、ボンド、コラージュ用素材、ハサミ、カッター、カッターマットを使用予定です。本学ですべて用意いたします。</p>	<p><b>9/12 詩をモチーフにしたコラージュ作品を 共同制作しよう!</b></p> <p>テーマに沿ってグループで共同制作を行い、成果発表を実施する。</p> <p>配付された詩を読み解き、その世界をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作をします。最後に、グループごとに成果を発表しあうことで、詩の世界の解釈や制作した作品の工夫や良さ等について共有します。授業の際、模造紙、カラーペン、色鉛筆、のり、ボンド、コラージュ用素材、ハサミ、カッター、カッターマットを使用予定です。本学ですべて用意いたします。</p>
<p><b>持ち物</b></p> <p>筆記用具</p>	<p><b>持ち物</b></p> <p>筆記用具</p>
<p><b>服装</b></p> <p>特に指定なし</p>	<p><b>服装</b></p> <p>特に指定なし</p>
<p><b>評価ポイント</b></p> <p>制作を楽しみながら試行錯誤し、仲間と協調する姿勢などを体験授業レポートにまとめその内容を評価します。</p>	<p><b>評価ポイント</b></p> <p>制作を楽しみながら試行錯誤し、仲間と協調する姿勢などを体験授業レポートにまとめその内容を評価します。</p>

## 体験授業②

<p><b>7/18 心理学モチーフの4コママンガから 教育・保育・子ども、そして自分を考える。</b></p> <p>心理学の視点をモチーフとした複数の4コママンガから気になる作品を選び、そこから得た気づきをまとめる。その後交流を行う。</p> <p>心理学の視点をモチーフとした4コママンガを複数紹介します。それらのなかから、自分が気になった作品をひとつ選び、その理由を考えます。その後、その作品から得た気づきについて、教育、保育、あるいは子どもとかかわる際に活かせる形にまとめます。最後に、それぞれが選んだ4コママンガの作品について紹介し、理由と気づきについて交流を行います。</p>	<p><b>9/12 心理学モチーフの4コママンガから 教育・保育・子ども、そして自分を考える。</b></p> <p>心理学の視点をモチーフとした複数の4コママンガから気になる作品を選び、そこから得た気づきをまとめる。その後交流を行う。</p> <p>心理学の視点をモチーフとした4コママンガを複数紹介します。それらのなかから、自分が気になった作品をひとつ選び、その理由を考えます。その後、その作品から得た気づきについて、教育、保育、あるいは子どもとかかわる際に活かせる形にまとめます。最後に、それぞれが選んだ4コママンガの作品について紹介し、理由と気づきについて交流を行います。</p>
<p><b>持ち物</b></p> <p>筆記用具</p>	<p><b>持ち物</b></p> <p>筆記用具</p>
<p><b>服装</b></p> <p>特に指定なし</p>	<p><b>服装</b></p> <p>特に指定なし</p>
<p><b>評価ポイント</b></p> <p>4コママンガという作品を楽しむ姿勢、感じたことや気づきについてまとめる力、他者に紹介する際の姿勢などを体験授業レポートにまとめその内容を評価します。</p>	<p><b>評価ポイント</b></p> <p>4コママンガという作品を楽しむ姿勢、感じたことや気づきについてまとめる力、他者に紹介する際の姿勢などを体験授業レポートにまとめその内容を評価します。</p>

併願可 既卒生受験可 評定平均基準なし

# 総合型選抜 自己PR型入試 活動評価型・未来評価型

高校までのこれまでの活動をアピールしたい方は「活動評価型」  
大学入学後の熱意、意欲をアピールしたい方は「未来評価型」を選択。  
実技、学科試験だけでは測れない「個性豊かな人材」を求める入試です。  
※体験授業型と併願可能。



## 活動評価型とは・・・

高校までの部活動やボランティアなどの「頑張ったこと」をアピールする入試です。

美術部、吹奏楽部、創作活動から、その他部活動や委員会活動、ボランティア活動など、高校までに「頑張ったこと」について自信をもってプレゼンしてください。

美術領域、デザイン領域では今までに作った作品のプレゼンでもOK。

絵画、デザイン、制作物、CG、映像、写真、プラモデル、自分が「好き」で作上げたものや、取り組んだ作品を活動実績として、プレゼンしてください。

出願時の評定平均基準なし。

数値による基準にとらわれず、自己PRや作品、これまでの活動や実績を通して、個性や可能性を評価する入試です。

コンクールや資格取得などは「プラスα加点」にて評価アップ。

様々なコンクールでの入賞実績や英検、漢検などの資格取得は「プラスα加点」として、評価されます。

### 選抜方法

- 以下により選抜を行います。
- ①自己PRシート(活動評価型)
  - ②プレゼンテーション(約10分)  
※準備や質疑応答の時間を含みます。
  - ③プラスα加点

### 例えば、こんな活動報告書(例)

高校までの部活動への取り組みをアピール

私は小さいころから絵を描くことが好きで、高校では美術部に所属し、三年次には部長を務めました。作品として大きな受賞歴はありませんが、部長として最悪力を入れたのは、さまざまなレベルや目標を持つ部員を一つにまとめることです。経験者もいれば初心者もいる中で、一人ひとりと丁寧にコミュニケーションを取り、それぞれの強みや不安を理解しながら、前向きに制作に取り組めるよう声かけや役割分担を工夫しました。個人制作だけでなく共同制作にも挑戦し、部全体の雰囲気が高めることができたと感じています。名古屋芸術大学では、様々なコースのことを学ぶファンデーション教育を通じて、自分の専門以外にも見識を広げられる機会があります。高校時代の部長経験で磨いた多様性を受け入れる力を発揮し、自分の表現力と技術をさらに磨きながら、私にしか描けない表現を追求していきたいと考えています。

### 大学からの講評

部長として部員を束ねるという難しい役割から逃げずに成し遂げたことが伝わってきます。その経験が本学の学びにしっかりつながることが分かります。

### プラスα加点とは・・・

所属学校卒業時までに取り組んだ活動履歴や受賞歴、資格・検定等の実績を提出することにより、加点される制度です。

例)音楽に関する大会やコンクール表彰、音楽に関する部活動や課外クラブ、美術、デザインに関する大会やコンクール表彰、美術デザインに関する部活動や課外クラブ、ICT・パソコンに関する資格・検定、英検、TOEICなど  
※詳しくは2027年度学生募集要項(6月末公開予定)を参照ください。

## 未来評価型とは・・・

入学後の熱意をアピールする入試です。

高校までの活動実績に自信がない方向けの、入学後にこんなことをやってみたい!という「未来」をアピールする入試です。名古屋芸大に入ってやりたいこと、なりたい自分を熱意をもってプレゼンしてください。

将来についてしっかり考えることが大切!

大学でどのようなことを学びたいのか?どんな4年間を過ごしたいのか、卒業後はどんな仕事に就きたいのか?具体的に将来ビジョンを描くこと、そしてそれが名古屋芸大だからこそ、実現できる!というつながりが大切です。

オープンキャンパスに参加して、名古屋芸大でやりたいことのヒントを探そう!

オープンキャンパスは一步先に行く学生の話の聞いたり、演奏を聴いたり、作品を見ることが出来る絶好のチャンス。こんな先輩になりたい!こんな活動をしたい!この先生のレッスンや授業を受けてみたい!そんな入学後のなりたい自分を見つけるヒントが詰まっています。

### 選抜方法

- 以下により選抜を行います。
- ①自己PRシート(未来評価型)
  - ②プレゼンテーション(約10分)  
※準備や質疑応答の時間を含みます。

### 例えば、こんな志望理由書(例)

将来の目標や夢を具体的にアピール

私は幼い頃からピアノを習い、高校では軽音部に所属して学園祭やライブハウスで演奏活動を行ってきました。ステージに立ち、観客と一体になるあの高揚感を何度も経験する中で、将来は音楽業界で働きたいと強く思うようになりました。特に、演者としてだけでなく、その高揚感を生み出すステージを創る側の仕事に携わりたいと考えています。自らも演者としてステージに立ってきた経験があるからこそ、緊張や不安、期待といった気持ちを理解し、出演者に寄り添った演出を組み立てられる人材になりたいです。名古屋芸術大学のミュージックエンターテイメント・ディレクションコースでは、実践に近い実習を数多く経験でき、本番さながらの学びを重ねられる点に魅力を感じました。さらに初年次の基礎教育によって幅広い分野を学ぶことで、現場で臨機応変に対応できる即興力も身につけたいと考え、志望いたしました。

### 大学からの講評

将来の夢、名古屋芸大を選んだ理由、入学後に学びたいことが具体的に示されており、説得力がある。

POINT

- 体験授業型と併願可。
- 検定料は15,000円。
- 1期、2期とも同じ選抜方法のため、チャレンジしやすい。

1期

2期

1 出願期間

9/24<sup>木</sup>~10/9<sup>金</sup>

11/16<sup>月</sup>~12/7<sup>月</sup>

本学受験生サイトから「出願登録」を行ってください。

2 出願書類提出期日

10/10<sup>土</sup>

12/8<sup>火</sup>

以下出願書類を期日までに提出してください。  
 ※書類提出は提出期日の消印有効です。入試区分によって、提出する出願書類が異なるため、十分に気を付けてください。  
 <活動評価型>①出願確認票②自己PRシート(活動評価型)③調査書④活動報告書  
 <未来評価型>①出願確認票②自己PRシート(未来評価型)③調査書

3 試験日

10/17<sup>土</sup>

12/12<sup>土</sup>

受験票をダウンロードし、試験日にご持参ください。  
 集合時間・場所は受験票に記載があります。

4 合格発表

11/3<sup>火</sup>

12/18<sup>金</sup>

合格者に合格通知と入学手続き書類を送付します。

5 入学手続き

12/18<sup>金</sup>

1/21<sup>木</sup>

期日までに入学手続きを完了ください。

6 入学前教育(プレファンデーション)

入学前教育(プレファンデーション)が受講できます。  
 学部・領域ごとに課題が異なります。入学手続き書類にて案内を送付します。

併願可 既卒生受験可 評定平均基準なし

## 総合型選抜 実技型入試

これまでに取り組んできたレッスン・部活動・演奏活動や、デッサン・描写・デザイン思考などの創作活動により、積み重ねてきた経験をもとに、実技によって表現力や基礎力を評価します。特待生選考も兼ねており、複数回の受験も可能です。

※体験授業型と併願可能。



### 実技型入試とは・・・

専門ごとの実技課題によって表現力を評価します。

各専門分野の特性に応じた実技課題と評価軸を設けており、制作や演奏などの実技と面談を通して、基礎的な技能と表現の力を総合的に評価します。本学での学びにつながる基礎的な力を確認する入試です。

総合型選抜でも1期と2期、年内に2回の受験機会があります。

1期2期とも課題の形式は共通しているため、再チャレンジに向けての対策が立てられます。

年内に実技による評価を受けることができます。

年内に実施される実技型入試として、自らの表現力や技能を早い段階で示すことができます。実技による評価を通して、自身の到達点や課題を確認しながら、今後の進路を考えることができます。

実技の成果が特待生選考につながります。

本入試では、実技試験の成果に応じて特待生として選考される可能性があります。優れた技能や表現力を評価し、今後の学びを支援する制度が設けられています。

#### 併願について

- ◎本入試は、他大学との併願が可能です。
- ◎年内に実技試験を経験することで、その後の受験に向けた準備としても活用することができます。

#### 選抜方法

- 以下により選抜を行います。
- ①実技試験  
※各学部学科、領域、コースの実技試験内容はP33～P38を参照ください。
  - ②個人面談(約10分)

## オープンキャンパスに参加して万全な実技対策を！ 実技型入試の対策講座が充実のラインアップ OPEN CAMPUS 入試対策講座

### 音楽領域

#### 個人レッスン

- 楽器ごとに個人レッスンを開講(※事前予約制)
- 自分の弾きたい曲や本学課題曲をマンツーマンでじっくり丁寧に指導します。

随時開催  
事前予約制

### 美術領域

#### 「平面課題」「立体課題」対策講座開講

- 本学希望者、併願希望者いずれも受講可能。
- 基礎を確認しつつ、モチーフの捉え方や構成の仕方などを指導していきます。受験までに各段にレベルアップするための講座です。

7月25日(土)  
10月3日(土)

### デザイン領域

#### デッサン講座・デザインの思考力講座開講

- デザイン領域で選択できる2つの実技試験の対策講座を開講。
- どちらの対策講座にも参加できます。
- デッサン講座はデッサンの基礎から発展レベルまで一人ひとりのレベルに合わせて細かく指導します。デザインの思考力講座は、デザインの基礎となる思考力について楽しみながら学んでいく講座です。

7月25日(土)  
10月3日(土)

その他の領域の実技講座も開催予定です。詳しくは本学受験サイトをご確認ください。

POINT

- 体験授業型と併願可。
- 1期、2期とも同じ形式の課題のため、検定料は15,000円。再チャレンジしやすい。

1期

2期

1 出願期間

9/24<sup>木</sup>~10/9<sup>金</sup>

11/16<sup>月</sup>~12/7<sup>月</sup>

本学受験生サイトから「出願登録」を行ってください。

2 出願書類提出期日

10/10<sup>土</sup>

12/8<sup>火</sup>

以下出願書類を期日までに提出してください。※書類提出は提出期日の消印有効です。  
①出願確認票②志望理由書③調査書

3 試験日

10/17<sup>土</sup>

12/12<sup>土</sup>

受験票をダウンロードし、試験日にご持参ください。  
集合時間・場所は受験票に記載があります。

4 合格発表

11/3<sup>火</sup>

12/18<sup>金</sup>

合格者に合格通知と入学手続き書類を送付します。

5 入学手続き

12/18<sup>金</sup>

1/21<sup>木</sup>

期日までに入学手続きを完了ください。

6 入学前教育(プレファンデーション)

入学前教育(プレファンデーション)が受講できます。  
学部・領域ごとに課題が異なります。入学手続き書類にて案内を送付します。

**音楽領域** ※課題曲等の詳細は6月末公開予定の「2027年度学生募集要項」にてご確認ください。

① 声楽コース	
試験内容	指定実技
試験説明	課題曲を確認の上、外国歌曲を1曲、および日本歌曲を1曲の、計2曲を選択し、「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択した計2曲を演奏すること。
評価ポイント	(1)発声の基礎(呼吸・姿勢・響き) (2)音程・リズムなどの基礎的音楽能力 (3)音楽性・表現力 (4)学びに向かう姿勢・意欲 (5)将来の成長可能性

② 鍵盤楽器(ピアノ)コース	
試験内容	指定実技
試験説明	課題曲を確認の上、1曲選択し、自由曲1曲とあわせて2曲を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は「実技曲目記入用紙」に記入した2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。
評価ポイント	(1)基礎的な演奏技術 (2)音楽性・表現力 (3)楽曲理解・解釈力 (4)学びに向かう姿勢・意欲 (5)将来の成長可能性

③ 鍵盤楽器(電子オルガン)コース	
試験内容	指定実技
試験説明	ELS-02C、ELS-03XRのいずれかの機種を使用し、任意の楽曲を演奏してください。使用する記憶媒体はUSBフラッシュメモリーのみ、MDR機能は予め保存されたレジストレーション情報の読み込みのみ使用可とします。
評価ポイント	(1)基礎力 (2)表現力 (3)技術力 (4)楽曲の理解度・完成度

④ 弦管打コース	
試験内容	指定実技
試験説明	任意の楽曲を演奏してください。
評価ポイント	(1)楽曲の完成度 (2)楽曲の習熟度 (3)楽曲の理解度 (4)楽器演奏の技術

⑤ ウインドアカデミーコース	
試験内容	指定実技
試験説明	任意の楽曲もしくはエチュード(練習曲)を演奏
評価ポイント	(1)楽曲の完成度 (2)楽曲の習熟度 (3)楽曲の理解度 (4)楽器演奏の技術

⑥ ポップスロック&パフォーマンスコース	
試験内容	指定実技
試験説明	マイナス1音源にて任意の楽曲を演奏(スマートフォン、CD)
評価ポイント	(1)曲の理解度 (2)楽しんで演奏出来ているか (3)音程、リズム、和音、リフ、ソロ等のレベル (4)姿勢熱意がみられるか (5)自己の考えやプレゼン、パフォーマンス能力(曲の説明等)

⑦ ダンスパフォーマンスコース	
試験内容	指定実技
試験説明	受験者が自身で選曲した楽曲に合わせたダンスパフォーマンスの実施。 (条件)曲の長さは2分以上とし、ダンスのジャンルは問わない。
評価ポイント	(1)技術力 (2)表現力 (3)創造性 (4)身体能力

⑧ 声優アクティングコース	
試験内容	指定課題
試験説明	指定した二つの課題、朗読と演技をそれぞれの台本テキストに沿って、試験管の前で身体表現も含めて演じてもらう。
評価ポイント	(1)理解力 (2)探求力 (3)集中力 (4)対応力

⑨ サウンドメディア・コンポジションコース	
試験内容	指定課題
試験説明	<事前作品提出> 自分で創作した音楽作品を出願書類とともにUSBメモリで提出する。楽曲の長さは5分程度とし、作品のファイル形式はWAVファイルとする。「作品提出記入用紙」とともに提出すること。
評価ポイント	作品を構成するための技術的要素に加え、オリジナリティ、表現力などを多角的に判断します。

⑩ ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	
試験内容	指定課題
試験説明	【プレゼン課題:理想のステージスタッフ像について】 舞台制作の現場では、多くの専門部署が協力して一つの作品を作り上げます。あなたが考える「理想のステージスタッフ」とはどのような人物ですか。音響・照明・舞台監督・衣装などの特定の部署に限定せず、プロのスタッフとして共通して必要な精神、姿勢、あるいは現場での在り方について、あなたの考えをプレゼンしてください。 ○発表時間: 5分 ○提出物: プレゼンテーション資料(出願書類とともに提出) ○資料形式: A3サイズ、横向き1枚で作成してください。 ○留意事項: これまでの自身の経験や、具体的な舞台作品の例などを交えて構成しても構いません。
評価ポイント	(1)現場への理解と安全意識 単なる「好き」ではなく、現場の厳しさ、安全第一の姿勢、多職種が共存する特殊な環境を想像できているか。 (2)連携力とプロの在り方 自分の役割に固執せず、作品全体のクオリティ向上のために「他部署とどう対話するか」という柔軟性があるか。 (3)実体験に基づく自己分析 抽象的な言葉だけでなく、過去の経験や具体的な作品から「なぜその理想に辿り着いたか」という独自の視点があるか。 (4)伝達能力(構成・表現) A3、1枚の資料を「設計図」のように扱い、5分間で論理的かつ情熱を持って相手に伝えられるか。

⑪ 音楽ケアデザインコース	
試験内容	指定実技
試験説明	自分の得意とする音楽表現(歌唱・楽器演奏・弾き語り・即興など)を用いて、3~5分のパフォーマンスを行う。ジャンルや形式は問わない。音楽を通して何を表現しようとしているかを重視する。
評価ポイント	(1)自身の技術レベルに応じた適切な選曲がなされているか。 (2)音楽を通して意図や感情が伝わる表現となっているか。 (3)選曲の意図を口頭で明確に説明できるか。

**⑫ 音楽総合コース**

①~⑪までのいずれか1つのコースの実技課題を選択できます。

## 舞台芸術領域

全コース		
試験内容	これまでの活動実績・作品のプレゼンテーションを行う	
試験説明	時間	1人30分(受験生プレゼンテーション15分、質疑応答15分)
	持ち物	紙資料はA3サイズ換算で5～10枚程度 立体物・模型等の持参も可。ただし 一人で持ち運べる範囲。複数の形式を組み合わせても可 ※プロジェクターを使用して、PowerPoint等のプレゼンテーションを行う場合は事前に資料データを大学宛に提出してください。
	モチーフ・課題の公表内容	これまでに自身が取り組んだ芸術活動、創作活動、社会活動、ボランティア活動などについて、作品、写真、チラシ、コピー、模型、報告書、企画書、ポर्टフォリオなど、自分の活動を伝えるための資料を自由に持参し、15分間のプレゼンテーションを行ってください。資料は複数の形式を組み合わせても構いません。紙資料はA3サイズ換算で5～10枚程度を目安とし、立体物等は一人で持ち運べる範囲とします。プレゼンテーション終了後、15分間の質疑応答を行います。
	大学準備物	パソコン、プロジェクター、USBコネクター
評価ポイント	これまでの活動を振り返り、作品意図や工夫した点、苦労した点を自分の言葉で整理し、他者に伝える力を評価します。舞台芸術作品をつくるうえで不可欠な、企画力、表現力、言語化能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を総合的に見ます。プレゼンテーションと質疑応答を通して、活動の質だけでなく、思考の深さも確認します。	

## 美術領域

全コース		
試験内容	静物デッサン 指定された卓上の共通モチーフを木炭紙大画用紙に鉛筆を用いてデッサンする。	
試験説明	時間	3時間
	持ち物	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り用具(カッターナイフなど)、練り消しゴムなどの描画道具一式
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	問題用紙、木炭紙大画用紙、画紙、カルトン、モチーフ
評価ポイント	デッサンを描くことによって基礎的な多くの能力が身につきます。本学ではその中から構成力・質感描写・空間表現を重視して採点、判断をいたします。 配布されたモチーフをいかに魅力的な配置で構成するか、という点に注意して構図を決めてください。 ものの大小によるバランスの考えられた、全体に動きやテーマのある構成が望ましいです。試験当日に描くモチーフとして、素材や触感の異なった物が配布されますので、個々の特質(例:反射する・映る・柔らかい・固いなど)を描き分け、表情豊かなデッサンを描くことも重要です。固さや濃さの異なった鉛筆を使い分け、それぞれの質感表現につなげたいところです。画面の中での奥行や、モチーフ同士の前後関係を描くためには、光による明暗や物自体の色(固有色)をきちんと理解した上で全体感を損なわない様に描き進めることも大切です。	

## デザイン領域 ファンデーションは、①か②いずれか1つを選択できます。

ファンデーション①		
試験内容	鉛筆デッサン	
試験説明	時間	3時間
	持ち物	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り用具(カッターナイフなど)、練り消しゴムなどの描画道具一式
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	2027年度学生募集要項をご確認ください。
評価ポイント	次のような点を評価します。 (1)理解力 出題内容を正確に読み取り、求められている条件や意図を的確に把握できているか。 (2)構成力 画面全体の空間を意識し、モチーフを効果的に配置して、安定感のある構図をつくることができているか。 (3)発想力 対象の特徴を捉えながら、どのように画面を構成するかについて、自ら考え工夫しようとしているか。 (4)表現力 観察した内容をもとに、形や明暗などを適切に描き分け、意図が伝わる描写ができているか。	

ファンデーション②		
試験内容	デザイン思考力テスト 提示した課題テーマに対して、その背景や問題などを考察し、課題を改善するためのアイデアを検討し、魅力的な企画案としてまとめる	
試験説明	時間	3時間
	持ち物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	2027年度学生募集要項をご確認ください。
評価ポイント	次のような点を評価します。 (1)理解力 与えられた課題の内容や背景を読み取り、問題の原因や関係性を整理しながら考えることができているか。 (2)構成力 課題の目的や対象を踏まえ、考えたアイデアを具体的な計画や手順として整理できているか。 (3)発想力 既存の考え方にとらわれず、新しい視点や柔軟なアイデアを生み出そうとしているか。 (4)表現力 自らの考えや提案を、図や言葉を用いて、他者に分かりやすく伝えることができているか。	

## 先端メディア表現コース

	試験内容	提示した課題テーマに対し、独自の視点で構想し、時間軸に沿ってまとめる
試験説明	時間	3時間
	持ち物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	問題用紙、ワークシート、B3 画用紙、下書き用紙 (A3 白紙) 3枚
	評価ポイント	<p>次のような点を評価します。</p> <p>(1)理解力 出題内容を的確に読み取り、求められているテーマや条件を正しく理解できているか。</p> <p>(2)構成力 出来事や行動の流れを時間の経過に沿って整理し、順序立てて分かりやすく構成できているか。</p> <p>(3)発想力 新しい視点や独自の考えを取り入れ、説得力のある展開や内容を構想しようとしているか。</p> <p>(4)表現力 時間的な経過や状況の変化を、絵と言葉を用いて図解し、他者に分かりやすく伝えることができているか。</p>

## 文芸・ライティングコース

	試験内容	会話劇の脚本の続きを書く
試験説明	時間	2時間
	持ち物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	ドラマ脚本の原稿
	評価ポイント	<p>次のような点を評価します。</p> <p>(1)理解力 提示された会話劇の内容や登場人物の関係を読み取り、物語の状況や流れを的確に理解できているか。</p> <p>(2)構成力 物語の流れを踏まえ、自然で説得力のある展開や結末を組み立てることができているか。</p> <p>(3)発想力 登場人物の心情や状況を想像しながら、独自の視点や工夫のある展開を考えることができているか。</p> <p>(4)表現力 脚本の形式と言葉のテイストを合わせ、感情や状況を的確に表し、読者に伝わる表現ができているか。</p>

## 芸術教養領域

### リベラルアーツコース

	試験内容	多様なピースを組み合わせ、新しい関係性や意味を構築し表現する
試験説明	時間	<p>合計180分程度</p> <p>構想・リサーチ(45分):ピースの観察・調査、持参物の整理。</p> <p>制作・構成(105分):ピースの組み合わせ、配置、言語化(キャプション作成)。</p> <p>振り返りの記述(30分):制作意図や思考プロセスの記述(ワークシート)。</p>
	持ち物	<p>筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、ボールペン)</p> <p>自身の興味関心、視点を表すようなピース(身の回りの小物 など)※何点でも可</p> <p>スマートフォン(ピースの背景を調べるリサーチ用として使用可)</p>
	モチーフ・課題の公表内容	<p>自身が持参した「ピース(興味関心を象徴するもの)」と、当日会場にある「多様なジャンル・時代のピース(写真、図版、小物など)」を自由に組み合わせ、そこに生まれる「新しい関係性」を表現してください。</p> <p>【表現の方法】指定のトレイ(A3サイズ程度)内にピースを自由に配置し、視覚的に提示します。また、その組み合わせに独自の「タイトル」と、どのような新しい価値や意味が生まれたかの解説あるいは物語などを書きます。</p> <p>※試験時間内は、自身のスマートフォン等を使用した背景情報のリサーチを認めます。</p>
	大学準備物	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なピース(写真、古本、雑誌、小物 など)</li> <li>展示用台</li> <li>解答用ワークシート(制作意図、リサーチ内容、自己評価を記入)</li> </ul>
	評価ポイント	<p>この試験では、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせ、新しい価値を見つけ出す「編集」の力を測ります。具体的には、以下の5つの観点をもとに、探究心や新たな価値を創出するための基礎的な力があるかを総合的に評価します。</p> <p>(1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせる「編集」の役割を理解し、多角的に捉えようとしているか。</p> <p>(2)意欲・実行 アート、デザイン、音楽、マンガなど、自身の興味関心を起点に、対象の背後にある「意味」や「物語」を探求し、新たなつながりを見つけ出そうとしているか。</p> <p>(3)思考・判断 単なる材料としてではなく、モノやコトの成り立ちに目を向け、自身の視点で新しい価値や意味を見出そうとしているか。</p> <p>(4)技能・表現 選択した要素を論理的に構成し、「なぜこの組み合わせにしたのか」という理由を、説得力のある言葉で表現しようとしているか。</p> <p>(5)コミュニケーション 「正解」を求めるのではなく、自分自身の言葉で「つながり」を定義し、自分の視点を他者に対して伝えようとする姿勢があるか。</p>

## 教育学部

### 子ども学科

	試験内容	新聞紙による立体造形とそのプロセスの可視化
試験説明	時間	<p>合計120分程度</p> <p>アイデア出しを含めた制作(70分)</p> <p>プレゼン用ワークシート作成(30分)</p> <p>プレゼンテーション(20分)</p>
	持ち物	ハサミ、筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	新聞紙、ホチキス、作品台座、プレゼン用ワークシート、アイデアスケッチ用の紙
	評価ポイント	<p>新聞紙という身近な素材から、どのように発想を広げ、自分だけの形を生み出せるかを問う試験です。新聞紙は扱いやすく、試行錯誤しやすい点で優れています。新聞紙の素材としての特徴をいかにうまく捉えることができるか、また、自分の作品制作のプロセスや工夫、作品に対する思いなどを他者に伝えることができるかを評価します。</p>

併願可 既卒生受験可 評定平均基準なし

# 総合型選抜 プロフェッショナルアーティスト入試

音楽領域プロフェッショナルアーティストコース専用の入試です。  
更なる高みを目指して、演奏・作曲活動を続けたい方向け。  
特待生Sとして合格すると、最大4年間の学費が免除に。



## プロフェッショナル アーティスト入試とは・・・

音楽領域プロフェッショナル  
アーティストコース専用の入試です。

声楽、鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、作曲に特化し、更なる高み  
を目指して、演奏・作曲活動を続けたい方向けの入試です。  
特待生Sとして合格すると、最大4年間の学費が免除に。

年内は2回の受験チャンス。

年内は1期と2期の2回の受験チャンスがあり、課題曲は同じです。音楽  
領域内の指定された一部コースと併願することが可能です。  
※年明けの一般入試でもプロフェッショナルアーティストコースの受験を  
することができます。

## 選抜方法

以下により選抜を行います。

- ① 専門試験  
声楽・鍵盤楽器・弦楽器、管楽器、打楽器/専門試験(指定課題曲の演奏)  
作曲/専門試験(作品提出及び口頭で説明)  
※指定課題曲詳細は「2027年度学生募集要項」を参照ください。
- ② 個人面談

## 出願の流れ ※出願資格についてはP61を参照ください。



併願可 既卒生受験可 評定平均基準なし

# 総合型選抜 科目選択型入試

基礎学力検査または小論文で受験したい方向け。  
実技の準備の必要がなく、普段の学習内容で受験できる入試。  
面接廃止となり、ますます受験しやすい入試に。

志望理由書(事前テーマ設定)及び基礎学力検査(英語・数学・国語から2科目)  
または小論文で受験できる入試選抜。

出願時に志望理由書を提出し、当日試験は科目試験のみ。科目試験は2科目の基礎学力検査または小論文を出願時に選択いただけます。得意な科目でチャレンジしてください。

基礎学力検査は全問解答選択式。

英語・数学・国語から2科目を選択する基礎学力検査は全設問が解答選択式。記述問題がなく、受けやすい入試になります。

12月実施でかつ併願可能な入試。

国公立大学を目指して勉強を続けてきた人にとって受けやすい科目試験を利用した選抜形式。

併願可能のため、他大学を志望する受験生にも受けやすい入試です。

今年度より面接廃止。面接準備が不要です。

面接を廃止し、学力試験重視の入試です。

## 選抜方法

以下により選抜を行います。

①志望理由書(事前テーマ設定)

②科目試験 基礎学力検査(英語、数学、国語より2科目選択)または小論文のいずれかを出願時に選択

※基礎学力検査の出題範囲

「英語」:英語コミュニケーションI

「数学」:数学I

「国語」:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)

※小論文の課題は当日発表。800字程度とする。

試験時間 50分

・基礎学力検査 2科目

・小論文

## 出願の流れ ※出願資格についてはP61を参照ください。

### 1 出願期間

11/16<sup>月</sup>～12/7<sup>月</sup>

本学受験生サイトから「出願登録」を行ってください。

### 2 出願書類提出期日

12/8<sup>火</sup>

以下出願書類を期日までに提出してください。※書類提出は提出期日の消印有効です。  
①出願確認票②志望理由書(事前テーマ設定)③調査書  
※事前テーマ:2026年6月末公開予定の「2027年度学生募集要項」をご確認ください。  
※様式は本学受験生サイトからダウンロードしてください。

### 3 試験日

12/12<sup>土</sup>

受験票をダウンロードし、試験日にご持参ください。集合時間・場所は受験票に記載があります。

### 4 合格発表

12/18<sup>金</sup>

合格者に合格通知と入学手続き書類を送付します。

### 5 入学手続き

1/21<sup>木</sup>

期日までに入学手続きを完了ください。

### 6 入学前教育(プレファンデーション)

入学前教育(プレファンデーション)が受講できます。  
学部・領域ごとに課題が異なります。入学手続き書類にて案内を送付します。

併願可 既卒生受験可 評定平均基準なし

## 学校推薦型選抜 一般推薦入試

専願

## 学校推薦型選抜 指定校推薦入試

所属する学校の学校長推薦を得て受験する入試です。  
高校までの成績や取組に対する評価をもって推薦を受けるため、高校の勉強や部活などを頑張っ取り組んだ方向けの入試です。

**学校長の推薦を受けて受験する選抜方式。一般推薦入試は評定平均の基準なし。**

出願に際し、所属する高校の学校長の推薦が必要となります。一般推薦入試は、出願にあたり評定平均の基準設定はありません。

**一般推薦入試の実技試験は総合型選抜実技型入試と同一形式の課題。**

一般推薦入試の実技試験は、総合型選抜実技型入試と同一形式の課題となります。

実技経験がある方にお勧めの選抜です。

**一般推薦入試は基礎学力検査による受験も可能。**

基礎学力検査は英語、数学、国語から2科目を出願時に選択。全設問が解答選択式で受けやすい入試です。

**特待生Bに採択されるチャンス。**

一般推薦入試では、入学初年次の学費(授業料、教育充実費、施設設備費)が年間50万円に減免される特待生Bにチャレンジできます。

### 一般推薦入試 選抜方法

以下により選抜を行います。

①実技試験または基礎学力検査

※音楽領域、美術領域、デザイン領域は実技試験または基礎学力検査から選択(音楽領域(声楽・鍵盤楽器・弦管打)は実技試験のみ)

※舞台芸術領域、芸術教養領域、教育学部は基礎学力検査のみ

※基礎学力検査は、「英語」「数学」「国語」から2科目を選択

基礎学力検査の出題範囲

「英語」:英語コミュニケーション

「数学」:数学I

「国語」:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)

試験時間 基礎学力検査 2科目 50分

②個人面談(約10分)

### 指定校推薦入試 選抜方法

所属する高校にお問い合わせください。

## 出願の流れ ※出願資格についてはP61を参照ください。

### 1 出願期間

11/2<sup>月</sup>～9<sup>月</sup>

本学受験生サイトから「出願登録」を行ってください。

### 2 出願書類提出期日

11/10<sup>火</sup>

以下出願書類を期日までに提出してください。※書類提出は提出期日の消印有効です。

①出願確認票②推薦書③調査書

※推薦書は本学WEBサイトより指定用紙をダウンロードし、出身学校長が作成、厳封したものを提出してください。

### 3 試験日

11/14<sup>土</sup>

受験票をダウンロードし、試験日にご持参ください。

集合時間・場所は受験票に記載があります。

### 4 合格発表

12/1<sup>火</sup>

合格者に合格通知と入学手続き書類を送付します。

### 5 入学手続き

12/18<sup>金</sup>

期日までに入学手続きを完了ください。

### 6 入学前教育(プレファンデーション)

入学前教育(プレファンデーション)が受講できます。

学部・領域ごとに課題が異なります。入学手続き書類にて案内を送付します。

併願可

既卒生受験可

評定平均基準なし

# 一般選抜 一般入試

前期は実技試験または学科試験、後期は実技試験でチャレンジできる入試です。国立大学などを目指して学習や実技を磨いてきた方向けの入試です。今年度より面接が廃止になり、ますます受けやすい入試になっています。

前期は実技試験または学科試験(英語・数学・国語から2科目)から選択可能。今年度より面接廃止。

前期は実技試験または学科試験から出願時に選択。今年度より面接を廃止。実技試験または学科試験に絞って受験対策が可能です。

実技試験は総合型選抜実技型入試、学校推薦型選抜一般推薦入試と同一形式の課題。

実技試験の内容は総合型選抜実技型入試及び学校推薦型選抜一般推薦入試と同じ形式の課題となります。

実技経験がある方にお勧めの選抜。

学科試験は全問解答選択式。

英語・数学・国語から2科目選択する学科試験は全設問が解答選択式。記述問題がなく、受けやすい入試になります。

後期は実技試験のみ。

後期は実技試験のみで選抜。国立大学の受験対策として実技を磨いてきた方に受けやすい入試です。

## 選抜方法

以下により選抜を行います。

<前期>

学科試験または実技試験

※音楽領域、美術領域、デザイン領域は実技試験または学科試験から選択

舞台芸術領域、芸術教養領域、教育学部は学科試験のみ

※学科試験は、「英語」「数学」「国語」から2科目を選択

学科試験の出題範囲

「英語」：英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、論理・表現I

「数学」：数学I、数学A

「国語」：現代の国語、言語文化(漢文は除く)

試験時間 各教科 50分 合計100分

※実技試験の内容はP47~52参照

<後期>

実技試験

※実技試験の内容はP47~52参照

## 出願の流れ

前期

後期

### 1 出願期間

1/6<sup>水</sup>~26<sup>火</sup>

2/10<sup>水</sup>~23<sup>火</sup>

本学受験生サイトから「出願登録」を行ってください。

### 2 出願書類提出期日

1/27<sup>水</sup>

2/24<sup>水</sup>

以下出願書類を期日までに提出してください。※書類提出は提出期日の消印有効です。

①出願確認票②調査書

### 3 試験日

2/3<sup>水</sup>

3/2<sup>火</sup>

受験票をダウンロードし、試験日にご持参ください。集合時間・場所は受験票に記載があります。

### 4 合格発表

2/12<sup>金</sup>

3/10<sup>水</sup>

合格者に合格通知と入学手続き書類を送付します。

### 5 入学手続き

2/26<sup>金</sup>

3/24<sup>水</sup>

期日までに入学手続きを完了ください。

音楽領域 ※課題曲等の詳細は6月末公開予定の「2027年度学生募集要項」にてご確認ください。

① 声楽コース	
試験内容	指定実技
試験説明	課題曲を確認の上、外国歌曲を1曲、および日本歌曲を1曲の、計2曲を選択し、「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択した計2曲を演奏すること。
評価ポイント	(1)発声の基礎(呼吸・姿勢・響き) (2)音程・リズムなどの基礎的音楽能力 (3)音楽性・表現力 (4)学びに向かう姿勢・意欲 (5)将来の成長可能性

② 鍵盤楽器(ピアノ)コース	
試験内容	指定実技
試験説明	課題曲を確認の上、1曲選択し、自由曲1曲とあわせて2曲を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は「実技曲目記入用紙」に記入した2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。
評価ポイント	(1)基礎的な演奏技術 (2)音楽性・表現力 (3)楽曲理解・解釈力 (4)学びに向かう姿勢・意欲 (5)将来の成長可能性

⑦ ダンスパフォーマンスコース	
試験内容	指定実技
試験説明	受験者が自身で選曲した楽曲に合わせたダンスパフォーマンスの実施。 (条件)曲の長さは2分以上とし、ダンスのジャンルは問わない。
評価ポイント	(1)技術力 (2)表現力 (3)創造性 (4)身体能力

⑧ 声優アクティングコース	
試験内容	指定課題
試験説明	指定した二つの課題、朗読と演技をそれぞれの台本テキストに沿って、試験管の前で身体表現も含めて演じてもらう。
評価ポイント	(1)理解力 (2)探求力 (3)集中力 (4)対応力

③ 鍵盤楽器(電子オルガン)コース	
試験内容	指定実技
試験説明	ELS-02C、ELS-03XRのいずれかの機種を使用し、任意の楽曲を演奏してください。使用する記憶媒体はUSBフラッシュメモリーのみ、MDR機能は予め保存されたレジストレーション情報の読み込みのみ使用可とします。
評価ポイント	(1)基礎力 (2)表現力 (3)技術力 (4)楽曲の理解度・完成度

④ 弦管打コース	
試験内容	指定実技
試験説明	任意の楽曲を演奏してください。
評価ポイント	(1)楽曲の完成度 (2)楽曲の習熟度 (3)楽曲の理解度 (4)楽器演奏の技術

⑨ サウンドメディア・コンポジションコース	
試験内容	指定課題
試験説明	<事前作品提出> 自分で創作した音楽作品を出願書類とともにUSBメモリで提出する。楽曲の長さは5分程度とし、作品のファイル形式はWAVファイルとする。「作品提出記入用紙」とともに提出すること。
評価ポイント	作品を構成するための技術的要素に加え、オリジナリティ、表現力などを多角的に判断します。

⑩ ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	
試験内容	指定課題
試験説明	【プレゼン課題:理想のステージスタッフ像について】 舞台制作の現場では、多くの専門部署が協力して一つの作品を作り上げます。あなたが考える「理想のステージスタッフ」とはどのような人物ですか。音響・照明・舞台監督・衣装などの特定の部署に限定せず、プロのスタッフとして共通して必要な精神、姿勢、あるいは現場での在り方について、あなたの考えをプレゼンしてください。 ○発表時間: 5分 ○提出物: プレゼンテーション資料(出願書類とともに同時提出) ○資料形式: A3サイズ、横向き1枚で作成してください。 ○留意事項: これまでの自身の経験や、具体的な舞台作品の例などを交えて構成しても構いません。
評価ポイント	(1)現場への理解と安全意識 単なる「好き」ではなく、現場の厳しさ、安全第一の姿勢、多職種が共存する特殊な環境を想像できているか。 (2)連携力とプロの在り方 自分の役割に固執せず、作品全体のクオリティ向上のために「他部署とどう対話するか」という柔軟性があるか。 (3)実体験に基づく自己分析 抽象的な言葉だけでなく、過去の経験や具体的な作品から「なぜその理想に辿り着いたか」という独自の視点があるか。 (4)伝達能力(構成・表現) A3、1枚の資料を「設計図」のように扱い、5分間で論理的かつ情熱を持って相手に伝えられるか。

⑤ ウインドアカデミーコース	
試験内容	指定実技
試験説明	任意の楽曲もしくはエチュード(練習曲)を演奏
評価ポイント	(1)楽曲の完成度 (2)楽曲の習熟度 (3)楽曲の理解度 (4)楽器演奏の技術

⑥ ポップスロック&パフォーマンスコース	
試験内容	指定実技
試験説明	マイナス1音源にて任意の楽曲を演奏(スマートフォン、CD)
評価ポイント	(1)曲の理解度 (2)楽しんで演奏出来ているか (3)音程、リズム、和音、リフ、ソロ等のレベル (4)姿勢熱意がみられるか (5)自己の考えやプレゼン、パフォーマンス能力(曲の説明等)

⑪ 音楽ケアデザインコース	
試験内容	指定実技
試験説明	自分の得意とする音楽表現(歌唱・楽器演奏・弾き語り・即興など)を用いて、3~5分のパフォーマンスを行う。ジャンルや形式は問わない。音楽を通して何を表現しようとしているかを重視する。
評価ポイント	(1)自身の技術レベルに応じた適切な選曲がなされているか。 (2)音楽を通して意図や感情が伝わる表現となっているか。 (3)選曲の意図を口頭で明確に説明できるか。

⑫ 音楽総合コース	
試験内容	専門試験
試験説明	実技試験を実施します。3つの課題(エチュード・古典派のソナタ・自由曲)を演奏すること。
評価ポイント	以下のポイントに重点を置き、評価する。 (1)実技試験では、全体のプログラムの構成力、完成度、習熟度。 (2)各時代のスタイルを理解し、それを演奏に反映させられているか。

①~⑫までのいずれか1つのコースの実技課題を選択できます。

⑬ プロフェッショナルアーティストコース\*

⑬ プロフェッショナルアーティストコース*	
試験内容	専門試験
試験説明	実技試験を実施します。3つの課題(エチュード・古典派のソナタ・自由曲)を演奏すること。
評価ポイント	以下のポイントに重点を置き、評価する。 (1)実技試験では、全体のプログラムの構成力、完成度、習熟度。 (2)各時代のスタイルを理解し、それを演奏に反映させられているか。

\*一般入試のみ受験可

**舞台芸術領域** ※一般選抜一般入試 後期のみで実施。

全コース		
試験内容	これまでの活動実績・作品のプレゼンテーションを行う	
試験説明	時間	1人30分(受験生プレゼンテーション15分、質疑応答15分)
	持ち物	紙資料はA3サイズ換算で5～10枚程度 立体物・模型等の持参も可。ただし 一人で持ち運べる範囲。複数の形式を組み合わせても可 ※プロジェクターを使用して、PowerPoint等のプレゼンテーションを行う場合は事前に資料データを大学宛に提出してください。
	モチーフ・課題の公表内容	これまでに自身が取り組んだ芸術活動、創作活動、社会活動、ボランティア活動などについて、作品、写真、チラシ、コピー、模型、報告書、企画書、ポートフォリオなど、自分の活動を伝えるための資料を自由に持参し、15分間のプレゼンテーションを行ってください。資料は複数の形式を組み合わせても構いません。紙資料はA3サイズ換算で5～10枚程度を目安とし、立体物等は一人で持ち運べる範囲とします。プレゼンテーション終了後、15分間の質疑応答を行います。
	大学準備物	パソコン、プロジェクター、USBコネクター
評価ポイント	これまでの活動を振り返り、作品意図や工夫した点、苦労した点を自分の言葉で整理し、他者に伝える力を評価します。舞台芸術作品をつくるうえで不可欠な、企画力、表現力、言語化能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を総合的に見ます。プレゼンテーションと質疑応答を通して、活動の質だけでなく、思考の深さも確認します。	

**美術領域**

全コース		
試験内容	静物デッサン 指定された卓上の共通モチーフを木炭紙大画用紙に鉛筆を用いてデッサンする。	
試験説明	時間	3時間
	持ち物	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り用具(カッターナイフなど)、練り消しゴムなどの描画道具一式
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	問題用紙、木炭紙大画用紙、画紙、カルトン、モチーフ
評価ポイント	デッサンを描くことによって基礎的な多くの能力が身につきます。本学ではその中から構成力・質感描写・空間表現を重視して採点、判断をいたします。 配布されたモチーフをいかに魅力的な配置で構成するか、という点に注意して構図を決めてください。 ものの大小によるバランスの考えられた、全体に動きやテーマのある構成が望ましいです。試験当日に描くモチーフとして、素材や触感の異なった物が配布されますので、個々の特質(例:反射する・映る・柔らかい・固いなど)を描き分け、表情豊かなデッサンを描くことも重要です。固さや濃さの異なった鉛筆を使い分け、それぞれの質感表現につなげたいところです。画面の中での奥行や、モチーフ同士の前後関係を描くためには、光による明暗や物自体の色(固有色)をきちんと理解した上で全体感を損なわない様に描き進めることも大切です。	

**デザイン領域** ファンデーションは、①か②いずれか1つを選択できます。

ファンデーション①		
試験内容	鉛筆デッサン	
試験説明	時間	3時間
	持ち物	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り用具、(カッターナイフなど)、練り消しゴムなどの描画道具一式
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	2027年度学生募集要項をご確認ください。
評価ポイント	次のような点を評価します。 (1)理解力 出題内容を正確に読み取り、求められている条件や意図を的確に把握できているか。 (2)構成力 画面全体の空間を意識し、モチーフを効果的に配置して、安定感のある構図をつくることができているか。 (3)発想力 対象の特徴を捉えながら、どのように画面を構成するかについて、自ら考え工夫しようとしているか。 (4)表現力 観察した内容をもとに、形や明暗などを適切に描き分け、意図が伝わる描写ができているか。	

ファンデーション②		
試験内容	デザイン思考力テスト 提示した課題テーマに対して、その背景や問題などを考察し、課題を改善するためのアイデアを検討し、魅力的な企画案としてまとめる	
試験説明	時間	3時間
	持ち物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	2027年度学生募集要項をご確認ください。
評価ポイント	次のような点を評価します。 (1)理解力 与えられた課題の内容や背景を読み取り、問題の原因や関係性を整理しながら考えることができているか。 (2)構成力 課題の目的や対象を踏まえ、考えたアイデアを具体的な計画や手順として整理できているか。 (3)発想力 既存の考え方にとらわれず、新しい視点や柔軟なアイデアを生み出そうとしているか。 (4)表現力 自らの考えや提案を、図や言葉を用いて、他者に分かりやすく伝えることができているか。	

## 先端メディア表現コース

試験内容		提示した課題テーマに対し、独自の視点で構想し、時間軸に沿ってまとめる
試験説明	時間	3時間
	持ち物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	問題用紙、ワークシート、B3 画用紙、下書き用紙 (A3 白紙) 3枚
評価ポイント		<p>次のような点を評価します。</p> <p>(1)理解力 出題内容を的確に読み取り、求められているテーマや条件を正しく理解できているか。</p> <p>(2)構成力 出来事や行動の流れを時間の経過に沿って整理し、順序立てて分かりやすく構成できているか。</p> <p>(3)発想力 新しい視点や独自の考えを取り入れ、説得力のある展開や内容を構想しようとしているか。</p> <p>(4)表現力 時間的な経過や状況の変化を、絵と言葉を用いて図解し、他者に分かりやすく伝えることができているか。</p>

## 文芸・ライティングコース

試験内容		会話劇の脚本の続きを書く
試験説明	時間	2時間
	持ち物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	会話劇の脚本
	大学準備物	ドラマ脚本の原稿
評価ポイント		<p>次のような点を評価します。</p> <p>(1)理解力 提示された会話劇の内容や登場人物の関係を読み取り、物語の状況や流れを的確に理解できているか。</p> <p>(2)構成力 物語の流れを踏まえ、自然で説得力のある展開や結末を組み立てることができているか。</p> <p>(3)発想力 登場人物の心情や状況を想像しながら、独自の視点や工夫のある展開を考えることができているか。</p> <p>(4)表現力 脚本の形式と言葉のテイストを合わせ、感情や状況を的確に表し、読者に伝わる表現ができているか。</p>

## 芸術教養領域 ※一般選抜一般入試 後期のみで実施。

### リベラルアーツコース

試験内容		多様なピースを組み合わせ、新しい関係性や意味を構築し表現する
試験説明	時間	<p>合計180分程度</p> <p>構想・リサーチ(45分):ピースの観察・調査、持参物の整理。</p> <p>制作・構成(105分):ピースの組み合わせ、配置、言語化(キャプション作成)。</p> <p>振り返りの記述(30分):制作意図や思考プロセスの記述(ワークシート)。</p>
	持ち物	<p>筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、ボールペン)</p> <p>自身の興味関心、視点を表すようなピース(身の回りの小物 など)※何点でも可</p> <p>スマートフォン(ピースの背景を調べるリサーチ用として使用可)</p>
	モチーフ・課題の公表内容	<p>自身が持参した「ピース(興味関心を象徴するもの)」と、当日会場にある「多様なジャンル・時代のピース(写真、図版、小物など)」を自由に組み合わせ、そこに生まれる「新しい関係性」を表現してください。</p> <p>【表現の方法】指定のトレイ(A3サイズ程度)内にピースを自由に配置し、視覚的に提示します。また、その組み合わせに独自の「タイトル」と、どのような新しい価値や意味が生まれたかの解説あるいは物語などを書きます。</p> <p>※試験時間内は、自身のスマートフォン等を使用した背景情報のリサーチを認めます。</p>
	大学準備物	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なピース(写真、古本、雑誌、小物 など)</li> <li>展示用台</li> <li>解答用ワークシート(制作意図、リサーチ内容、自己評価を記入)</li> </ul>
評価ポイント		<p>この試験では、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせ、新しい価値を見つけ出す「編集」の力を測ります。具体的には、以下の5つの観点をもとに、探究心や新たな価値を創出するための基礎的な力があるかを総合的に評価します。</p> <p>(1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせる「編集」の役割を理解し、多角的に捉えようとしているか。</p> <p>(2)意欲・実行 アート、デザイン、音楽、マンガなど、自身の興味関心を起点に、対象の背後にある「意味」や「物語」を探求し、新たなつながりを見つけ出そうとしているか。</p> <p>(3)思考・判断 単なる材料としてではなく、モノやコトの成り立ちに目を向け、自身の視点で新しい価値や意味を見出そうとしているか。</p> <p>(4)技能・表現 選択した要素を論理的に構成し、「なぜこの組み合わせにしたのか」という理由を、説得力のある言葉で表現しようとしているか。</p> <p>(5)コミュニケーション 「正解」を求めるのではなく、自分自身の言葉で「つながり」を定義し、自分の視点を他者に対して伝えようとする姿勢があるか。</p>

## 教育学部 ※一般選抜一般入試 後期のみで実施。

### 子ども学科

試験内容		新聞紙による立体造形とそのプロセスの可視化
試験説明	時間	<p>合計120分程度</p> <p>アイデア出しを含めた制作(70分)</p> <p>プレゼン用ワークシート作成(30分)</p> <p>プレゼンテーション(20分)</p>
	持ち物	ハサミ、筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	新聞紙、ホチキス、作品台座、プレゼン用ワークシート、アイデアスケッチ用の紙
評価ポイント		<p>新聞紙という身近な素材から、どのように発想を広げ、自分だけの形を生み出せるかを問う試験です。新聞紙は扱いやすく、試行錯誤しやすい点で優れています。新聞紙の素材としての特徴をいかにうまく捉えることができるか、また、自分の作品制作のプロセスや工夫、作品に対する思いなどを他者に伝えることができるかを評価します。</p>

併願可 既卒生受験可 評定平均基準なし

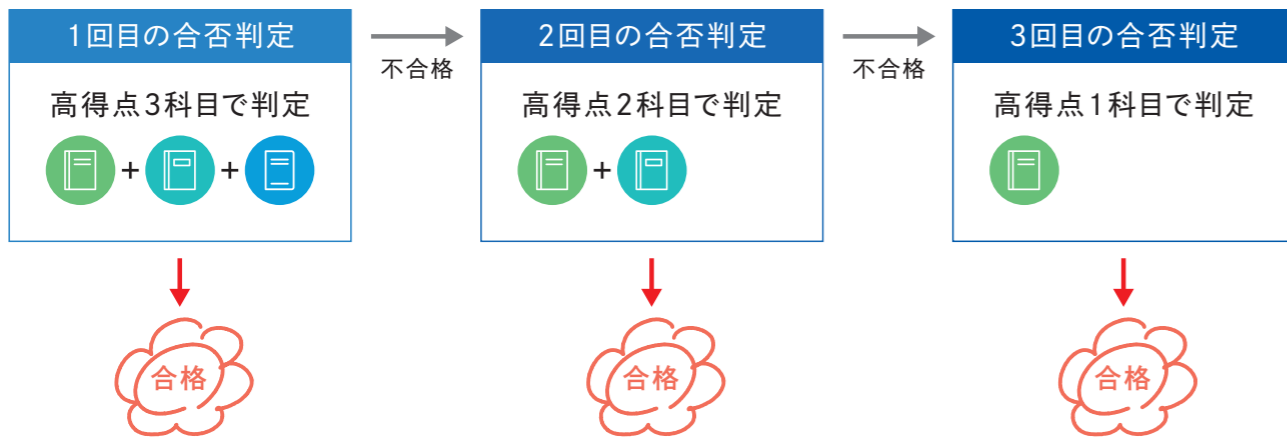
# 一般選抜 大学入学共通テスト利用入試

トリプル判定! 1回の出願で  
3回の合格チャンス!

東海地区  
大学の中で  
一番安い  
※2026年3月現在

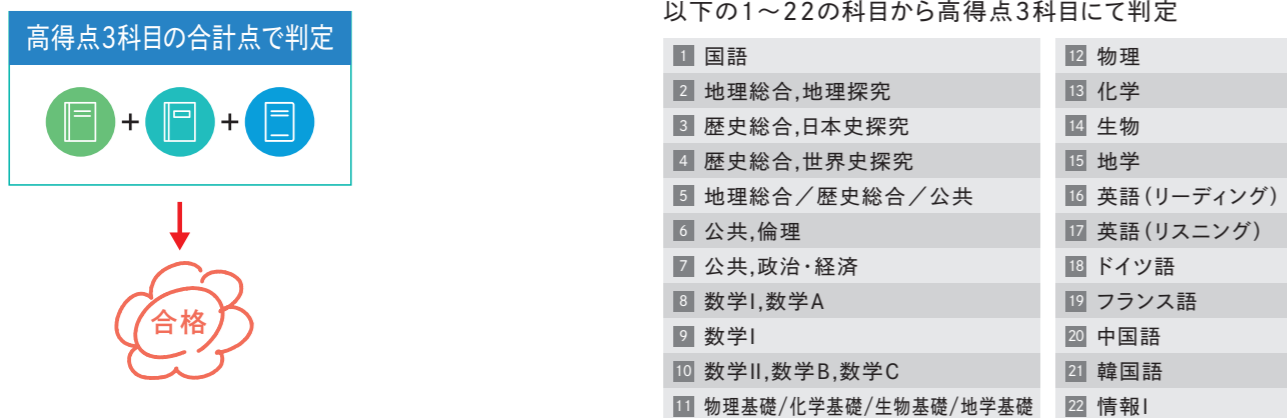
1出願  
検定料 3,000円

## パターン1 トリプル判定を受ける場合 検定料 9,000円



最大3回の合格チャンスがあります!

## パターン2 高得点3科目の合計点で判定を受ける場合 検定料 3,000円



更に教育学部では、「大学入学共通テスト利用型特待入試」実施。

- ①国語(配点:200点) ②数学(配点:100点) ③外国語(配点:200点)  
④「地理歴史」「公民」「理科」「情報」から高得点1科目(配点:100点)  
①~④の4科目(合計:600点)の得点により特待生として入学できます。

前期  
のみ

7割以上 (合計420点以上)	6割以上 (合計360点以上)	5割以上 (合計300点以上)
入学特待生S	入学特待生A	入学特待生B
最大4年間の 授業料、教育充実費、施設設備費を 全額免除	入学初年次の 授業料、教育充実費、施設設備費を 全額免除	入学初年次の 授業料、教育充実費、施設設備費を 年間50万円に減免

## 出願の流れ



## 総合型選抜(特別枠)

### 【併願】社会人&シニア入試・海外帰国生徒入試・外国人留学生入試

社会人&シニア入試	大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人やシニアの方を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品、面接および書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。
海外帰国生徒入試	保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品、面接および書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。
外国人留学生入試	日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、これまでの教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品、面接および書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。

実施期	インターネット出願登録期間	試験日	合格発表日	入学手続期限
1期	10/13(火)~22(木)	11/14(土)	12/1(火)	12/18(金)
2期	1/6(水)~14(木)	2/3(水)	2/12(金)	2/26(金)

対象領域	コース	選抜方法(1期・2期共通)
芸術学部 芸術学科 音楽領域	声楽コース 鍵盤楽器コース 弦管打コース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「専攻実技」(約10分) ※専攻実技の課題曲等は「2027年度 学生募集要項」にてご確認ください。 ③「個人面接」(約10分)
	ウインドアカデミーコース ポップス・ロック& パフォーマンスコース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定実技」または「小論文」いずれかを選択 ・指定実技/ウインドアカデミーコース:楽器演奏(約10分) ポップス・ロック&パフォーマンスコース:楽器演奏またはヴォーカル(約10分) ・小論文(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)
	ダンスパフォーマンスコース 声優アクティングコース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定実技」 ・指定実技/ダンスパフォーマンスコース:ダンスパート(各パート約10分) 声優アクティングコース:表現力(約10分) ③「個人面接」(約10分)
	サウンドメディア・ コンポジションコース ミュージック エンターテインメント・ ディレクションコース 音楽ケアデザインコース 音楽総合コース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定課題」または「小論文」いずれかを選択 ・指定課題/サウンドメディア・コンポジションコース:作品(事前)提出 音楽ケアデザインコース:歌唱または楽器演奏(約10分) 音楽総合コース:歌唱、楽器演奏(約10分)または作品(事前)提出 ・小論文(800字程度:50分) ※ミュージックエンターテインメント・ディレクションコースは指定課題はありません。 小論文での受験となります。 ③「個人面接」(約10分)
	芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)
芸術学部 芸術学科 美術領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「専攻実技」 ※詳細については「2027年度 学生募集要項」をご確認ください。 ③「個人面接」(約10分)	
芸術学部 芸術学科 デザイン領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)	
芸術学部 芸術学科 芸術教養領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)	
教育学部 子ども学科	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)	

### 【専願】3年次編入学試験

短期大学や専門学校卒業でさらに学びを深めたい方、あるいは、4年制大学に在籍しつつも本学が抱える音楽・舞台芸術・美術・デザイン・芸術教養・子どもの6つの学科・領域への専攻変更を希望する方が対象。すでに所定の単位数を取得していることを前提に本学における学びの目的や意欲も含め、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。

実施期	インターネット出願登録期間	試験日	合格発表日	入学手続期限
1期	10/13(火)~22(木)	11/14(土)	12/1(火)	12/18(金)
2期	1/6(水)~14(木)	2/3(水)	2/12(金)	2/26(金)

対象領域	コース	選抜方法(1期・2期共通)
芸術学部 芸術学科 音楽領域	声楽コース 鍵盤楽器コース 弦管打コース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「専攻実技」(約10分) ※専攻実技の課題曲等は「2027年度 学生募集要項」にてご確認ください。 ③「個人面接」(約10分)
	ウインドアカデミーコース ポップス・ロック& パフォーマンスコース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定実技」または「小論文」いずれかを選択 ・指定実技/ウインドアカデミーコース:楽器演奏(約10分) ポップス・ロック&パフォーマンスコース:楽器演奏またはヴォーカル(約10分) ・小論文(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)
	ダンスパフォーマンスコース 声優アクティングコース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定実技」 ・指定実技/ダンスパフォーマンスコース:ダンスパート(各パート約10分) 声優アクティングコース:表現力(約10分) ③「個人面接」(約10分)
	サウンドメディア・ コンポジションコース ミュージック エンターテインメント・ ディレクションコース 音楽ケアデザインコース	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定課題」または「小論文」いずれかを選択 ・指定課題/サウンドメディア・コンポジションコース:作品(事前)提出 音楽ケアデザインコース:歌唱または楽器演奏(約10分) ・小論文(800字程度:50分) ※ミュージックエンターテインメント・ディレクションコースは指定課題はありません。 小論文での受験となります。 ③「個人面接」(約10分)【配点:200点】
	芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「指定課題」 ・指定課題/舞台プロデュースコース:小論文(800字程度:50分) 舞台美術コース:専門実技(ラフスケッチ120分) 演出空間コース:専門課題(筆記試験30分+専門実技45分) ③「個人面接」(約10分)
芸術学部 芸術学科 美術領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「専攻実技」 ※詳細については「2027年度 学生募集要項」をご確認ください。 ③「個人面接」(約10分)	
芸術学部 芸術学科 デザイン領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)	
芸術学部 芸術学科 芸術教養領域	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)	
教育学部 子ども学科	①「志望理由書」(本学所定様式) ※出願書類とともにあらかじめ送付する。 ②「小論文」(800字程度:50分) ③「個人面接」(約10分)	

# 出願・手続きの流れ

## 01 出願サイトで出願登録

### 1 証明写真データを用意

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

### 2 インターネットで出願サイトにアクセス

本学Webサイトからアクセスしてください。

(URL)<https://sak-sak.net/app/nua/>



### 3 試験情報の登録

出願を希望する試験を登録します。

### 4 志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。1で用意した証明写真データをアップロード

- ユーザーID(半角英数字8文字以上。入力したメールアドレスをIDとすることもできます。)
  - パスワード(半角英数字併せて8文字以上。)
- ※ユーザーID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

### 5 提出書類の印刷

提出書類(出願確認票・送付ラベル)を印刷します。

## 02 入学検定料の支払い

現金支払い(コンビニ、ATM決済(ペイジー)、ネットバンキング)またはクレジットカード支払いを選択します。

全入学試験(大学入学共通テスト利用入学試験を除く) 1出願につき 15,000円

大学入学共通テスト利用入学試験 1出願につき 3,000円

※振込手数料が別途必要となります。

クレジットカードで  
お支払いの場合

①お支払いのカードを選択→②お支払いの完了

【利用可能なクレジットカード】



現金で  
お支払いの場合

①現金でのお支払い方法を選択→②お支払い受付番号の発行

【コンビニエンスストア】※コンビニエンスストアをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。



【ATM決済(ペイジー)】



【ネットバンキング】



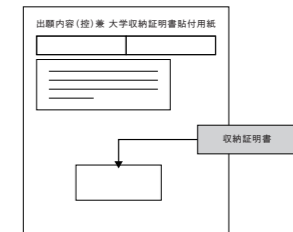
## 03 出願書類の印刷・送付

### 1 領収書(明細票)のコピーを提出用書類に貼り付ける

現金でお支払いの場合は、検定料のお支払い時に受け取られた領収書(明細票)のコピーを提出用書類に貼り付けてください。

### 2 提出用書類、調査書等の出願書類を郵送する

※出願書類については、「2027年度学生募集要項」でご確認ください。



## 04 受験票のダウンロード・印刷

### 1 出願サイトにアクセス

受験票PDFダウンロード通知メールを受け取ったら、出願サイトのトップ画面右下にある「ユーザー登録済の受験者用」欄に、出願登録時に登録した「ユーザーID」と「パスワード」を入力し、「出願状況確認」ボタンをクリックしてログインしてください。

### 2 受験番号を確認

出願登録した日時を確認し、出願受付番号欄に記載されている、「出願受付番号」をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認してください。

### 3 受験票を印刷

出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある「印刷」ボタンをクリックし、受験票PDFをダウンロードします。



## 05 受験

試験場、集合時間はダウンロードした受験票に記載されます。間違いのないようにしてください。

## 06 合格発表

【郵送通知】

合格者には合格発表日に合格通知書および入学手続きに必要な書類一式をレターパックで発送します。不合格者には通知書を送付しませんので、あらかじめご了承ください。

【インターネット合否照会】

本学の公式な合格発表は、合格通知書の発送によるものとしますが、合格発表の補助手段として、インターネットによる合否照会を合格発表日の午前10時から行います。掲載期間は合格発表日から入学手続き締切日までです。

※合格発表の学内掲示は行いません。また、合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

※本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

## 07 入学手続き

合格者には、合格発表とともに入学に必要な手続き書類一式を送付します。それぞれの書類に従って入学手続きを期日までに行ってください。

## 入試共通の注意事項

### ①出願完了の条件

出願は「インターネット出願」「入学検定料の支払い」「書類の郵送」の3つがすべて期限内に終わってはじめて完了します。どれか1つでも欠けると出願になりません。

### ②入力ミス・エラー対応

入力ミスや未入金は無効になります。エラーが出た場合は、登録完了や支払い完了の確認を必ず行いましょう。

### ③推奨端末

スマートフォンでも可能ですが、うまくいかない場合があります。できるだけパソコンで出願しましょう。

### ④メール受信設定

登録メールに重要連絡が届きます。指定ドメインを受信できる設定にし、必ずメール確認をしてください。

### ⑤支払い後の変更不可

入学検定料支払い後は、試験日や志望学科・領域・コース等の変更はできません。よく確認してから支払いましょう。

### ⑥入学検定料・書類の返還なし

一度支払った入学検定料や提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。

### ⑦書類不備

書類に不足やミスがあると受理されないことがあります。提出前に必ずチェックしましょう。

### ⑧写真の規定

顔写真が規定外の場合は再提出になります。サイズや背景を確認してください。

### ⑨虚偽・不正の禁止

嘘の記載や不正行為があれば、合格や入学は取り消されます。

### ⑩海外出身者の証明

海外の学校修了者は、出願時に成績証明書と卒業(見込)証明書が必要です。

### ⑪試験場の確認

試験会場は受験票に記載されています。必ず場所を確認しましょう。

### ⑫キャンパス・駅の注意

最寄駅は名鉄「徳重・名古屋芸大」駅です。地下鉄「徳重」駅と間違えないようにしましょう。

### ⑬天候・緊急連絡

警報が出てても基本は実施されます。変更は大学HPで確認。メールと電話は常に確認できるようにしましょう。

### ⑭感染症対策

換気や消毒に協力しましょう。体調管理も大切です。

### ⑮交通・駐車場

公共交通機関を利用し、余裕を持って来場しましょう。車は指定駐車場を使いましょう。

### ⑯遅刻限度

遅刻限度は試験開始20分までです。それ以降は不可。電車遅延は証明書が必要です。

### ⑰持ち込み禁止物

スマートフォンは電源オフ。スマートウォッチや電子機器、許可されていない道具の持ち込みは不正になります。

### ⑱試験時間中の注意事項

途中退室はできません。試験監督者の指示に従いましょう。不正行為は失格となります。

## よくあるご質問

### Q. スマートフォン、携帯電話、タブレット端末から出願できますか？

A. パソコン環境のご利用を推奨しています。  
スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDFファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

### Q. メールアドレスはスマートフォンや携帯電話のものを使えますか？

A. スマートフォンや携帯電話のメールアドレスもご利用いただけます。  
ただし、メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、ドメイン(@sak-sak.net)および(@nua.ac.jp)を受信する設定にしてください。

### Q. メールアドレスを持っていません。

A. 出願登録時にメールアドレスの入力が必須となりますので、使用可能なメールアドレスをご準備ください。  
メールアドレスは登録完了、入金完了の確認メールおよび、受験票PDF取得通知のメールを送信するために使用します。  
また、IDやパスワードを忘れた際に志願者情報を入力することで、登録されたメールアドレスに現在登録されているIDまたは自動設定された新しいパスワードが送信されます。

### Q. 自宅にプリンタがありません。

A. 自宅にプリンタがない場合は、記憶媒体(USBメモリなど)に保存してコンビニエンスストア等で印刷をしてください。

### Q. 途中でブラウザを閉じてしまいました。

A. セキュリティ対策として、入力途中の状態をブラウザ上に保持しておりません。初めから出願登録をやり直してください。

### Q. 「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。

A. セキュリティ対策として、一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。初めから出願登録をやり直してください。

### Q. 出願登録後に登録内容を変更することはできますか？

A. 〈最終確認画面で「申込」をクリックする前の場合〉  
入力した情報を変更することができますので、「戻る」ボタンで画面を戻って変更してください。  
〈完了画面まで進んでいる場合〉  
【コンビニエンスストア、ペイジー決済の場合】  
入学検定料の決済が完了していない場合は、再度出願登録からやり直してください。  
入学検定料の決済が完了している場合は変更できません。  
【クレジットカード、ネットバンキング決済の場合】  
入学検定料の決済が完了していますので変更できません。

### Q. 申込をキャンセルしたいのですが。

A. 入学検定料の決済前であれば、そのまま決済しなければ、出願期間を過ぎると自動的にキャンセルとなります。  
入学検定料の決済後の場合は、キャンセルすることはできません。

### Q. 個人情報を誤って登録してしまいました。

A. 【入学検定料支払い前の場合】  
現在の登録はそのままにして、再度出願登録からやり直してください。  
【入学検定料支払い後の場合】  
印刷した出願確認票の訂正箇所にも二重線を引き、空いているスペースに正しい内容を赤ペンで提出ください。

## 出願資格

**総合型選抜：体験授業型入試、自己PR型入試（活動評価型）、自己PR型入試（未来評価型）、  
実技型入試、科目選択型入試、プロフェッショナルアーティスト入試**  
**一般選抜：一般入試、大学入学共通テスト利用入試**

下記の1～3のいずれかを満たす者

- 1.日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者
- 2.日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2027年3月修了見込みの者
- 3.学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者
  - (1)外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2027年3月31日までに修了見込みの者
  - (3)専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月31日までに修了見込みの者
  - (4)文部科学大臣が指定した者
  - (5)文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの
  - (6)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの

【注意事項】

- ※総合型選抜においては、日本国籍又は永住の在留資格を有しない者は出願できません。  
ただし、上記の1または2を満たす者については、この限りではありません。
- ※大学入学共通テスト利用入試においては、上記の1～3のいずれかを満たし、かつ「令和9年度大学入学共通テスト」の教科（科目）で、本学が指定した教科（科目）を受験した者のみ出願できます。

### 学校推薦型選抜：一般推薦入試

日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者で、学業成績優良で出身学校長の推薦を受けた者

### 総合型選抜（特別枠）

出願資格については、「2027年度学生募集要項」をご確認ください。

## 出願書類

提出書類		説明内容
1	出願確認票	インターネット出願登録完了後に表示される「出願確認票」を印刷してください。 ※大学入学共通テストの成績を反映する入試は、令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット（私立大学用）を切り取って出願確認票に貼り付けてください。
2	調査書	全体の学習成績の状況の記載があり、出身学校長が証明、厳封したものを提出してください。 ※調査書の提出は内容に変更なければ併願、複数回の出願の場合でも1人1通で結構です。 ※卒業見込みの者については、高等学校および中等教育学校において出願期間開始前3か月以内に作成されたもの ※高等学校卒業認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に替えて検定合格証明書および合格成績証明書を、同試験合格見込み者は、成績の記載された合格見込成績証明書を提出してください。 免除科目のある場合は、高等学校の成績証明書等、免除科目を証明できる書類を添付してください。 ※調査書が発行されない場合は、卒業証明書を提出してください。 ※外国の学校を卒業した場合は、①卒業（見込）証明書、②成績証明書を出願時に郵送してください。
3	大学入学志望理由書	総合型選抜「実技型入試」「科目選択型入試」、一般選抜「教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入試試験」、総合型選抜（特別枠）に出願する場合は、「大学入学志望理由書」を提出してください。 本学 Web サイトより所定の用紙を A4 サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。 なお、総合型選抜「科目選択型入試」に出願する場合は、「2027 年度学生募集要項」に掲載される各学科領域で設定された「事前テーマ」に沿った内容で記入してください。
4	自己PRシート（活動評価型）	総合型選抜「自己PR型入試（活動評価型）」に出願する場合は「自己PRシート（活動評価型）」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。
5	自己PRシート（未来評価型）	総合型選抜「自己PR型入試（未来評価型）」に出願する場合は「自己PRシート（未来評価型）」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。
6	活動報告書	総合型選抜「自己PR型入試（活動評価型）」に出願し、プラスα加点を希望する場合は「活動報告書」を提出してください。 一般選抜「一般入試（前期）」に出願し、「学科試験（英語）」を受験する場合に、CEFR 基準のスコアを保持する者で、所定の配点を付し「学科試験（英語）」の受験免除を希望する場合は、「活動報告書」を提出してください。 ※詳細は「2027年度学生募集要項」をご参照ください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。
7	教育学部資格取得報告書	教育学部子ども学科を志願先として総合型選抜「自己PR型入試（活動評価型）」「科目選択型入試」に出願し、本学が指定する資格を取得している方で「入学特待生S」の選考を希望する場合は、「教育学部資格取得報告書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。 また、第三者により作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。
8	推薦書	学校推薦型選抜「一般推薦入試」に出願する場合は、「推薦書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA 4サイズに印刷したものをういて、出身学校長が作成、厳封したものを提出してください。
9	実技曲目記入用紙	音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合は「実技曲目記入用紙」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。
10	作品提出記入用紙	音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合は「作品提出記入用紙」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。
11	声楽曲伴奏楽譜	音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合は、「2027年度学生募集要項」の「選抜方法詳細（音楽領域）」を参考に「声楽曲伴奏楽譜」を作成し、提出してください。
12	事前提出課題・作品等	志願先学科・領域における選抜方法により提出を必要とする場合は、指定された課題および作品等を作成のうえ、提出してください。
13	最終学歴の卒業（見込）証明書	総合型選抜（特別枠）に出願する場合は、出願資格を証明し得る最終学歴の卒業（見込）証明書の原本を提出してください。 ・開封無効
14	最終学歴の成績証明書	総合型選抜（特別枠）に出願する場合は、最終学歴の成績証明書の原本を提出してください。 ・開封無効 ・卒業後大学等で単位を修得した場合は、その証明書
15	履歴書	総合型選抜（特別枠）に出願する場合は、「履歴書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。

〈その他の注意事項〉

- 1.日本語または英語以外の証明書などには、必ず日本語の翻訳を添付してください。
- 2.提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- 3.出願後における受験する学科領域コースの変更は一切認めません。
- 4.出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓を証明する公的な書類を添付してください。
- 5.出願書類の記入に際しては、原則黒のボールペン（インク）を使用し、自筆で記入してください。
- 6.外国人留学生の方は、別途提出が必要な書類があります。詳しくは「2027年度学生募集要項」をご確認ください。  
（2026年6月末公開予定）

名古屋芸術大学所定様式のダウンロードはこちら  
www.nua.ac.jp/examinee/entrance/



## 合格発表

### 発表方法

#### 【郵送通知】

合格者には合格発表日に合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで発送します。不合格者には通知書を発送しませんので、あらかじめご了承ください。

#### 【インターネット合否照会】

本学の公式な合格発表は、合格通知書の発送によるものとなりますが、合格発表の補助手段として、インターネットによる合否照会を合格発表日の午前10時から行います。掲載期間は合格発表日から入学手続締切日までです。  
 ※合格発表の学内掲示は行いません。また、合否結果や入試成績等に関する問い合わせは一切応じません。  
 ※本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

### 合格発表日

入試種別	合格発表日
<b>■ 総合型選抜 1期</b> 体験授業型入試 自己PR型入試(活動評価型) 自己PR型入試(未来評価型) 実技型入試 プロフェッショナルアーティスト入試	11月3日(火)
<b>■ 学校推薦選抜</b> 一般推薦入試 指定校推薦入試	12月1日(火)
<b>■ 総合型選抜 2期</b> 自己PR型入試(活動評価型) 自己PR型入試(未来評価型) 実技型入試 科目選択型入試 プロフェッショナルアーティスト入試	12月18日(金)
<b>■ 一般選抜 前期</b> 一般入試 大学入学共通テスト利用入試 大学入学共通テスト利用型特待入試	2027年2月12日(金)
<b>■ 一般選抜 後期</b> 一般入試 大学入学共通テスト利用入試	2027年3月10日(水)

### 追加合格

1. 本学は、入学手続者が入学予定者数に達しない場合に、入試の成績結果により追加合格を発表する場合があります。追加合格者の発表方法は、原則として対象者に電話連絡をもって行います。
2. 追加合格者には、合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで郵送します。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書とともに送付する書類を参照してください。
4. 追加合格については、本学Webサイトや学内掲示等による発表は行いません。また、追加合格の合否結果や入試成績等に関する問い合わせは一切応じません。

## 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学に必要な手続書類一式を送付します。それぞれの手続書類に従って入学手続を行ってください。なお、学納金納入期限は「入試日程」に記載されている「入学手続締切日」とおりです。期日までに納入手続を完了してください。完了されていない場合は、入学辞退とみなします。入学手続を完了された方に「入学許可書」を発送します。「入学許可書」は、入学手続完了後に書類にて発送を予定しています。

### 学納金 ※下記表は2026年度入学者用のものです。

(単位:円)

学部・学科・領域	コース	入学金	前期納付金				後期納付金				初年度納付金合計	
			授業料	教育充実費	施設設備費	合計	授業料	教育充実費	施設設備費	合計		
芸術学部 芸術学科	下記以外のコース	200,000	662,500			982,500	662,500			982,500	2,165,000	
	プロフェッショナルアーティスト		795,000			1,115,000	795,000			1,115,000	2,430,000	
	ウインドアカデミー		530,000	220,000	100,000	850,000	530,000	220,000	100,000	850,000	1,900,000	
	ミュージックエンターテインメント・ディレクション/ 声優アクティング/ダンスパフォーマンス		400,000			720,000	400,000			720,000	1,640,000	
	音楽ケアデザイン		612,500			932,500	612,500			932,500	2,065,000	
	舞台芸術領域		すべてのコース	450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	美術領域		すべてのコース	450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	デザイン領域		下記以外のコース	450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
			文芸・ライティング	350,000	250,000	100,000	700,000	350,000	250,000	100,000	700,000	1,600,000
	芸術教養領域		リベラルアーツ	350,000	250,000	100,000	700,000	350,000	250,000	100,000	700,000	1,600,000
教育学部 子ども学科		200,000	350,000	200,000	100,000	650,000	350,000	200,000	100,000	650,000	1,500,000	

### その他の納付金 ※下記表は2026年度入学者用のものです。

(単位:円)

学部・学科・領域	同窓会費 (入学時のみ納付)	学生教育研究災害 傷害保険料 (入学時のみ)	学生教育研究賠償 責任保険料 (入学時のみ)	
芸術学部 芸術学科	音楽領域	29,000	3,300	1,360
	舞台芸術領域	29,000		
	美術領域	30,000		
	デザイン領域	30,000		
	芸術教養領域	29,000		
教育学部 子ども学科	20,000			

※2027年度入学者の学納金、その他納付金については「2027年度学生募集要項」にてご確認ください。

## 学部の目的および教育理念と目標、3つのポリシー

### 建学の精神

し せ い ほう し

# 「至誠奉仕」

誠実な心で、  
子どもを含む様々な人に接するとともに、  
自らの学問や技術を伸長させることで  
芸術や教養、教育・保育の力を養い、  
これをもって社会と文化に貢献する

#### 大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、芸術に関する専門の学術技法及び人間発達に関する専門的知識を教授研究し、並びに広範な展望の下、歴史及び社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化及び人間発達の創造発展に寄与しうる人材を養成することを目的とする。

#### 大学の教育理念と目標

本学は、知性と感性のバランスのとれた教育理念に基づき、分野横断的取組みによる新たな価値の創造を実現する。キャリア教育の取組みを強化し、自治体や企業との連携を進展させ、芸術による教育・研究を進展させ地域・社会に貢献する。

### 芸術学部 芸術学科

#### 芸術学部の目的

音楽領域、舞台芸術領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する。

#### 芸術学部の教育理念と目標

芸術に関する専門の学術技法を教授し、歴史的・社会的視点にたった芸術教育を施すことにより、地域・社会に貢献しうる人格の形成を目標とする。

#### アドミッション・ポリシー

芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。

##### 求める学生像

##### 音楽領域

音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること。

##### 舞台芸術領域

舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること。

##### 美術領域

美術に対する関心や探求心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、それらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。

##### デザイン領域

デザインに対する関心や探究心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。

##### 芸術教養領域

芸術学部を設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること。

#### カリキュラム・ポリシー

芸術文化の発展と地域・社会に貢献するため、各領域の専門教育を充実させ、領域横断的に広く学ぶことでキャリア形成も複眼的に図っていくことができるカリキュラムを編成している。

#### ディプロマ・ポリシー

専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。

### 教育学部 子ども学科

#### 教育学部の目的

初等教育・保育にかかわる理論ならびに技術の教授を通して、豊かな感性を備え、真に子どもの成長・発達を支えることのできる教育者・保育者を養成する。

#### 教育学部の教育理念と目標

教育・保育の理論とスキルを学び、実習等の経験を積み上げ、芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、子どもの成長・発達を支える力を獲得し、地域に貢献できる小学校・幼稚園教諭、保育士を育てる。

#### アドミッション・ポリシー

高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。

##### 求める学生像

- 子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること。
- 将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること。
- 協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身につけていること。
- 議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること。

#### カリキュラム・ポリシー

保育士養成課程、幼稚園および小学校教諭養成課程の3課程を創造的かつ計画的に組み合わせて学ぶことで、多様性が求められるキャリア形成に即応し進路を明確にするカリキュラムを編成している。

#### ディプロマ・ポリシー

「建学の精神」に基づき、「芸術」に根ざした人間性、感性、創造性、教養、そして「わからないことを愉しむ」という姿勢を備え、教育あるいは保育分野における基礎的な専門知識と技術を活用しつつ、正解のない多様な課題に対し、他者と協働しながら「あそび心」をもって取り組むことで、子どもの発達を支援し、地域に貢献しつつ成長し続け、新たな価値を創造できる資質・能力を獲得した者に、学士（教育学）の学位を授与する。この際に参照される具体的な資質・能力を、以下の〈到達目標〉に示す。

#### 到達目標

##### 芸術的態度

- ・正解のない課題に取り組み、「わからないこと」を愉しもうとする態度をもつ者。
- ・創造性、探究心、論理性、問題解決力を発揮しつつ、知識・技術を総合的に活用しようとする者。
- ・多様な状況や課題に対して柔軟に対応し、解決を図ろうとする者。
- ・培った人間性と感性を基に、様々な分野を横断した視点から、新たな価値を見出そうとする者。

##### 知識・理解

- ・子どもの発達に関する基礎的な専門知識を身につけた者。
- ・専門分野における理論や技術を、幅広い教養とともに身につけた者。
- ・社会および専門分野の諸課題について、多角的かつ体系的に理解する者。

##### 関心・意欲

- ・社会の変化や専門分野の発展を積極的に学び、「わからないこと」を愉しみながら、自己成長を続ける意欲を持つ者。
- ・異文化に対する理解を重視し、主体的に課題を見出し、「あそび心」をもったうえで、専門的な視点から解決しようとする意欲を持つ者。
- ・自主的に学修・研究や成果発表を行い、地域社会と連携しながら実践を積み重ねようとする者。

##### 思考・判断

- ・専門的な知識や教養を生かし、多角的・批判的かつ「あそび心」をもって思考しようとする者。
- ・子どもの最善の利益を最優先に考慮し、適切な判断を下す力を身につけた者。
- ・社会や専門分野における課題について、最新の知識や教養に基づき、現場での実践にふさわしい判断ができる者。

##### 技能・表現

- ・ICTを含む専門分野の技術を修得し、実践で活用できる者。
- ・社会や他者に配慮しながら、自らの考えや意志を適切に表現する力を身につけた者。
- ・他者の視点を理解しつつ、自分の意見を発信する力を身につけた者。

##### コミュニケーション・人間関係

- ・倫理観を持ち、自己および他者を尊重する姿勢をもつ者。
- ・円滑なコミュニケーションを通じて、協働しながら課題を解決しようとする者。
- ・他者と協力しながら、新たな価値の創造に向けた建設的な対話を行う者。

##### 子どもに対する姿勢

- ・子ども一人ひとりの多様な背景をふまえ、適切に理解しようとする者。
- ・子どもの発達状態を把握し、強みと課題を見出す力を身につけた者。
- ・専門知識を基に、子どもの成長に寄与する課題設定と支援を行う姿勢と力を身につけた者。
- ・普遍的な価値を重視しつつ、変化する環境に応じた柔軟な姿勢をもって、誠実に子どもに向き合う者。